

2022 年度

経済学部演習紹介



西南学院大学経済学部

目 次

2022（令和4）年度演習Ⅰ選考の日程	3
経済学科の学生を対象とする演習	
崔 ゼミ	5
中馬ゼミ	7
江里口ゼミ	12
花田ゼミ	16
平井ゼミ	22
伊佐ゼミ	25
加藤 浩ゼミ	27
小出ゼミ	31
近藤ゼミ	36
熊谷ゼミ	40
仲澤ゼミ	44
小野ゼミ	46
相模ゼミ	48
市東ゼミ	50
瀧井ゼミ	56
丹波ゼミ	58
山村ゼミ	61
国際経済学科の学生を対象とする演習	
東 ゼミ	65
岩本ゼミ	68
亀井ゼミ	70
加藤 眞ゼミ	72
河村ゼミ	76
三宅ゼミ	80
石 ゼミ	82
立石ゼミ	84
尹 ゼミ	87

※経済学科の学生は「経済学科の学生を対象とする演習」に、また国際経済学科の学生は「国際経済学科の学生を対象とする演習」にしか応募できないので、注意してください。

2022（令和4）年度演習Ⅰ選考の日程

第1次募集

11月1日（月）～11月8日（月） 第1次募集申込期間
11月10日（水）～11月19日（金） 選考期間
11月25日（木） 第1次募集選考結果発表

第2次募集

11月25日（木）～11月30日（火） 第2次募集申込期間
12月2日（木）～12月7日（火） 選考期間
12月9日（木） 第2次募集選考結果発表

第3次募集

12月9日（木）～12月20日（月） 第3次募集申込期間および選考期間

追加募集

第3次募集以降、ゼミ未定者がある場合は、速やかに個別面談を開始

注意事項

- ・募集申込にあたっては、所属学科のゼミを選択しているか、書類不備がないかをよく確認すること。書類不備がある場合は、不合格となることがあるので十分注意すること。
- ・また、所属学科とは異なるゼミに応募した場合、複数のゼミに応募した場合、単位習得状況等に虚偽の記載があった場合は失格となるので注意すること。
- ・追加募集では、本学発行のメールアドレスを頻繁にチェックし、連絡には速やかに応じること。

経済学科の学生を対象とする演習

【注意】

「経済学科生の学生を対象とする演習」には、経済学科の学生だけが応募できます。
国際経済学科の学生は応募できません。

誤って他学科の学生を対象とする演習に応募した場合には、当該の選考からはずれ、自動的に次の選考に回りますので注意してください。



—— プロフィール ——

崔 宗煥（チェ ジョンホアン）

専門分野；経済政策論、計量経済学、日韓経済の実証分析。

演習テーマ；経済政策の理論と実際についての考察

（経済学の理論と現実の乖離）

テーマの解説；

近年、途上国に限らず、先進国においても、「経済格差」という言葉を耳にする機会が増えております。「格差」は、経済政策論的にとらえて決して悪い意味合いをもつ概念ではありませんが、所得格差問題は、福祉国家の理想とはかけ離れた新たな社会問題を生み出しています。さらに、福祉国家の実現は、財政的危機を招き、現状における福祉レベルの維持が将来的には不透明なものとなっております。つまり、理論的な理想として目指してきた福祉国家への道が、現実経済においては、新たな社会的・経済的問題を作り出しているといえます。この「理論と現実のギャップ」をどのように排除していくかは経済政策の大きな課題となっております。

わがゼミでは、経済理論や経済史に基礎をおきながら経済政策論的な勉学を目指していきます。具体的には、現実経済における様々な経済活動について、とりわけ経済政策論的なアプローチに重点を置き、政府活動と様々な経済政策について、日本経済のみならず世界経済情勢をも念頭に置きながら、探究することが課題です。経済理論において示される望ましい方向と現実におけるズレや課題に焦点を当てながら、理論・政策・歴史的な分析を試みていきます。経済学における理論と実際のバランスを常に保ちながら応用経済学の専門知識の習得を通じて現実経済に関する自律的な感覚を身につけていくことを最終目標としております。

演習の進め方；

ゼミでは、全体をバランスのとれた小グループ別にわけて、各担当グループ別に、テキストに加え、毎週自主的なテーマを選んで、新聞やインターネット情報などの最新情勢についても発表してもらいます。現実経済の背景にある経済理論と歴史及び政策論的な議論を進めることで、実際経済を見つめる上で必要な幅広い経済学的な感覚を養っていきます。

この目標を達成するために、ゼミでは、経済政策論に関するテキストを勉学することを通じて、実際の経済問題について、理論的な背景、他国における事例、過去における歴史的な教訓について

の知識を深めていきます。このようなトレーニングを通じて、現実における経済の動きや課題などについて、的確に判断できるような能力を自ら強化できるようにしていくことを最終目標とします。

テキスト；

田代・萩原・金澤『現代の経済政策（第4版）』有斐閣ブックス
(演習Ⅰと演習Ⅱにおいて共通使用)

評価方法；

出欠状況と普段のゼミ活動における積極的な取り組み姿勢を総合的に判断します。無断欠席や無責任な言動などによってゼミ全体の秩序を乱すようなことは、決して評価できません。

学生への要望；

ゼミ活動に対する最低限の配慮と積極的な参加を望みます。そして何よりも経済学の面白さや勉学の楽しみを通じて実感してくれればと思います。そのために、ゼミ時間においては積極的に発言する姿勢を期待します。

受講者の選抜方法；

経済政策論の基礎となる理論経済学の履修状況などを最低限考慮するようにしています。さらに、絶対条件ではありませんが、理論経済学及び入門経済数学、基礎統計学などを履修していれば優遇する場合があります。



—— プロフィール ——

- ①生年月日 1954 年 8 月 8 日（鹿児島市出身）
- ②専門分野 計量経済学、統計学
- ③所 属 経済学科
- ④担当科目 基礎統計学、統計学総論、経済情報処理実習

1. 専門分野の解説

今日では内閣支持率が経済政策にも大きく影響するようになりました。新聞社や放送局が独自に実施した調査結果を頻繁に報告するようになったのも、それを反映した現象でしょう。ところで、その調査結果に根拠を与え信頼性を保証しているのは、統計学の理論です。数字の示されない政治経済記事があり得ないように、統計データなしに経済の動きは語れません。経済学は実証研究を重要視して、統計データで経済学の理論仮説を検証する計量経済学という分野を生み出しました。今日では計量経済学はあらゆる経済問題の分析に適用され、経済の実態を知る不可欠の道具となっています。しかし、その分析結果や関連テキストに目を通すと、母数、相関、推定、検定など、統計学用語が溢れ、実証分析を志す学生にとって、統計学が必修分野であることを物語っています。経済学部生が統計学を学ぶことは、むしろ自然なことと言えるでしょう。

2. 演習テーマ

経済分析のための統計理論

3. テーマの解説と演習の進め方

社会科学で用いられる統計学的な分析手法について、教科書の輪読を通じて学びます。レポート発表、期末試験などの機会を通じて、理解を確実なものにします。

4. テキスト

宮川公男『基本統計学』第4版、有斐閣、2015年3月

5. 参考書

キース・デブリン『世界を変えた手紙』岩波書店、2010年10月

イアン・ハッキング『確率の出現』慶応義塾大学出版会、2014年2月

ニコラス・ストレンジ『グラフで9割だまされる』ランダムハウス講談社、2008年8月

6. 評価方法

ゼミ報告や期末試験などの評価を総合して最終評価とします。

7. ゼミ生の選考基準

ゼミ参加のための要点（無断欠席しないなど）を了解される方に参加していただきます。

8. 受講希望者への要望

3, 4 年次を通じて他のゼミ生と一緒に学習して、一人ではちょっと取り組めないと感じる内容にも挑戦しようという方を希望します。そのためには、まずゼミ生同士が仲良くすることが大切です。積極的に親睦を図り、真面目な相談もできるような仲間作りを目指してください。報告では自分なりに理解した内容を丁寧に説明するよう努力してください。

9. 卒論のテーマ

今春に提出された卒論の題目は、以下のとおりです。「日本の外国人労働力の現状と課題」「成功事例から見た福岡県のまちづくり」「キャッシュレス経済の現状と将来」「第 4 次産業革命が経済にもたらす変化」「レジ袋有料化の効果」「経済格差が生み出す教育格差」「ドラッグストア業界について」

10. 卒業生の勤務先

公務員（国税専門官、九州建設局、労働基準監督局、福岡県教育庁、福岡市、大分市、宗像市、宮若市、下関市、那珂川町、文科省高等教育局、文科省大臣官房人事課、中学校教諭、高校職員、福岡県警、熊本県警）、税理士、龍谷大学、鹿児島国際大学、人間文化研究機構（総合地球環境学研究所）、九州変圧器、九電工、九州日東精工、タツノ・メカトロニクス、渡辺パイプ、ライオン事務器、児島洋紙、QT ネット、でんつう、福岡銀行、西日本シティ銀行、佐賀銀行、山口銀行、遠賀信用金庫、麻生塾、安田火災、日本生命、明治安田生命、アフラック生命、アリコジャパン、岩田屋、大丸、西日本新聞、長崎新聞社、東京田辺製薬、中外製薬、小野薬品、萬有製薬、コスモス薬品、トステム、スターバックス、ワタミフーズ、一番食品、理研農産加工、双日、積和不動産、レオパレス、ミサワホーム九州、JR 九州、JA さが、JA 柳川、JA 福岡市、JA 共済など。

11. ゼミ生からのメッセージ（N1君）

私たちはすぐ自分にとってやる意味があるかないか考えがちですが、何か得ようという気持ちを優先して、とにかく試みる方が良いでしょう。私は基礎演習も含めた 3 年間に、気付かないうちに多くのことを学べた気がします。最近ふとしたことから友達と時事問題について話したところ、ゼミで学んだ内容に基づいて話している自分に気付いて驚きました。そこで大事だなと思ったのは、自分だけで達成できる何かには限界があり、強制的であろうとなかろうと、ゼミで与えられた内容

が自分の世界を広げてくれたということです。私はどのように影響されるかを主体的に選んだわけではありませんでした。ゼミにおける体験の一つひとつが確実に自分の糧になったと実感できます。かつて社会人になることに不安な気持ちを抱いた時期もありましたが、今ではゼミの仲間との付き合いを今後も大切にしながら、さらに社会で様々な影響を受け成長できると信じることができ、そのような日々の到来を楽しみに待てるようになりました。

12. 卒業生からのメッセージ

H1 さん「なんと M 君のところは双子です。私も今年は 2 人目を出産予定です。…」「病気で休職半年目です。健康ってありがたいんだな～と感じています。」I1 君「鹿児島に戻って…西南には及ばずとも K.K. 大も頑張りますよ。」「先生の下で学ばせていただいてから 15 年、これからも頑張ります。」I2 君「年始の言葉を書くのが辛い…、でも先ずは投げ出さないことですね。」「知っているつもりになっていたことに気づき、情けない思いがします。早く生授業ができると良いですね。」K1 君「4 年次で卒業に必要な 62 単位を修得しようと、…真面目に授業に出席し始めたら、この大学は私語が多いと気づきました。それまで自分もその中にいたので、私語したい気持ちもよくわかるのですが、…」K2 君「時間がかかりましたが、やっと税理士試験に合格できました。昨年結婚しました。」K3 君「教わる立場から教える立場になり、その難しさ、責任の重さを実感しています。」K4 君「ゼミを卒業して 20 年、今は以前と同じ職場に戻り、人事の仕事をしています。正解のない仕事で日々悪戦苦闘しています。」「ゼミを卒業して 23 年になります。私の職場も学校ですので、コロナ対応で大変です。」K5 君「…博士論文の執筆作業が終了し、平日は所属先のサプライチェーンのプロジェクト研究、週末はコロナ関係の共同研究を進めるという日常を送っています。」M1 君「私は論理的に順を追って話すことが苦手でしたが、ゼミで学ぶうちに自然と変わったのは望外の喜び…」M2 君「先生に反抗的な口調で話したりして、誠に申し訳ありませんでした。しかし、そうしたことで、先生とも話し易くなったという気持ちがあります。」M3 さん「働き始めて驚いたのは、1 日がとても速いことでした。」「先月結婚しました。…仕事は国民健康保険の給付事務をしています。度重なる制度改正により複雑化する制度の理解に努める毎日です。」「昨年 4 月から予算担当となり、学ぶことの多い 1 年でした。先日、4 kg のキウイを抱えて帰ったところ、筋肉痛で体力低下を感じて筋力トレーニングに取り組むことにしました。」N2 君「先生の授業に対する準備と私の授業に対する準備があまりにも違ったので、その辺りを反省…」N3 さん「久々に社会復帰します。不安ですが、頑張ります。」「アレクサに話しかける先生を想像したら、ほっこりしました。」N4 君「教員生活 18 年、中学の教育現場は年々厳しくなっています。」「教え子が何人か大学でお世話になっているかもしれません。いつかお会いしたいです。」「コロナが治まらないですね。子供が大学のことを考え始め、時代の流れを感じます。」O1 君「京都へ転勤して仕事が驚異的に忙しく、毎日 2 時に帰宅という生活です。」「…転職しました。今は海外技術営業部で、金型の仕事をしています。慣れない仕事に苦戦中です。」O2 さん「2 回目の成人式を済ませ、西南のキャンパスで学生をしているという怖あ～い夢を何度かみました。大学にやり残したことでもある

のでしょうか。たぶん勉強。」「娘は JK ライフを楽しみ、息子はいつまでも勉強のエンジンかからず、教材ジブシーしています。」「…おおげさだなあと他人事のように思っていたら、コロナが広がってしまいました。…夫が在宅勤務になり、子供たちも休校になったりして、ずっと家の人口密度が高く酸素不足でした。…」O3 君「K 社がたいへんな状況になり、当社も影響を受けて…」S1 さん「学生時代と比べ、今は勉強が多くて多くて、… 財務、法務、業務、商品知識、そしてコンピューター。研修で朝から晩まで…」S2 君「合宿の夜にやったゲームですが、2～3 時間も解答がわからず… みんな集中して一生懸命考えている姿がとても印象的でした。」S3 君「メディア環境が激変、新聞業界も大変な時代…、でも 1 つ 1 つ突破していく面白さも感じて…」T1 君「入社してすぐ支店配属になったのですが、上司の文書を代打ち…、大学での先生の授業のありがたさを改めて思い知りました。私も早く一人前の営業マンになれるよう頑張ります。」T2 君「就職活動で悩んだとき、一度先生に相談…僕は卒業を間近に就職のことで悩んでいましたが、先生のお蔭で無事に卒業し就職もできました。」T3 君「論文には適さない文章、言葉の足りない文章、卒論作成を通じて自分の文章力のなさを痛感した経験は、きっと社会人になっても生きるものと思います。」U1 君「突然ですが、卒業を取り消さないでしょうか。… 卒業のみを優先目標として学生時代を過ごした事を深く反省…。社会というフィールドで闘う自分を見いだせず… 現在は父の税理士業の手伝いで事務を…」W 君「市役所 6 年目、福祉に異動して 3 年目、学ぶことの多い毎日です。…」







—— プロフィール ——

担 当 科 目：経済思想史，経済英語など

演習のテーマ：どうして経済思想は日常の役にたつのか

出 身 地：佐賀県小城生まれ，熊本県八代育ち

好きなもの：お酒，ウッド・ベース，カヌー，釣り，ジョギング，自転車，キャンプ道具，エレキ・ギター（メタル），カメラ（ライカ），ミニシアター系 B S 日本映画，温泉・史跡めぐり，日曜大工，筋トレ，バカになりきれるという事

演習テーマ：

大学教員としてのキャリアは 25 年，西南に赴任して 10 年です。ディベート・ディスカッション中心のゼミです。おしゃべりが大好きで，友と夜通しで人生を語ってしまう濃い目の人にはぴったりの場所です。議論好きの集まりでゼミ中は非常に騒々しく，いつも時間が足りずに苦労しています。ゼミでは卒論を書き，各自で研究テーマをもってもらいますが，議論が深まってくると，しっかりした準備が必要になってくるからです。ゼミ生は，他者の研究テーマに首をつっこみながら，ともに励まし合い，多くのテーマについて幅広く学んでいるようです。

行き詰まった時，「考えてからしゃべる」ではなく，「しゃべりながら考える」ことがしばしば有益です。「良い意見を言おう」とすると頭が真っ白ですが，「稚拙でも良いのでまずは何か言おう」とすると，良いアイデアが浮かぶことがあります。哲学者のイマヌエル・カントいわく，人間にはもともと普遍的真理への能力が備わっています。これを発揮できないのは，高校までの教育制度が「正解」だけを暗記する退屈なシステムだったからではないのでしょうか。社会に出れば，そこに「正解」はなく，未来への「進化」があるのみ。古い「正解」にこだわると，「実り」を見失うことも。ゼミ生には，最初は内容的に稚拙でもまったくかまわないので，自分から「しゃべる」ことを求めます。画一的な優等生よりも，他者との「違い」を楽しめる大人になって欲しいのです。多様性は「進化」の原動力ですし。

僕の専門である経済思想史とは，偉大な経済学者や政策当局者が，「要は，なにを言いたいのか？」をさぐる学問です。むずかしい学説や制度も，つきつめれば人間の「想い」を体現しています。経済の仕組みや身近な出来事も，「人間の思想」によって成り立っています。これらは通常「無意識」領域に追いやられ，意識されないのですが，その核心が理解できれば世界がシンプルに見えてきます。それは究極の他者理解であり，コミュニケーション作業です。同時に，コミュニケーション主体である自己への理解も深まっていきます。

そもそも福岡県に住む大学 2 年生である「私」は，「無意識」にどのような経済行動をしているのでしょうか？ 案外，見えにくくないのでしょうか。実は，「私」は友人の模倣をしていることが多い。ところが，その友人も「私」の模倣をしていたようだ！と気づくこともあるでしょう。では，

どうして模倣してしまったのか？不安だったから、とりあえず。どうして不安だったのか？メディアで不安を煽るようなことが書いてあったから。メディアはなぜそういう情報を流すのか？と無意識の行動にもある程度共通する原因があるようです。

演習の進め方：

演習Ⅰは、テキストの準備ができるまで英語の輪読を行います。準備ができたら日本語テキスト分担発表をします。次に研究テーマを決めてもらうために、三段階の準備を経て、4,000字程度の期末レポートを完成させます。あらゆる過程で、ディベート、ディスカッション、質疑応答の練習をします。一日に一言も自分から発言しない人は、欠席扱いとなります。飲み会ができない場合は、モノポリーで経済を学びましょうかね。

演習Ⅱは、前期は全員出席が難しいこともあるので何か共通のテキストを輪読・ディスカッションし、後期に入るところから、本格的に卒論発表・ディスカッションへと向かいます。後期になると就活面接をくぐり抜けたゼミ生たちは皆いっばしの論客になっており、あれこれ本当によく発言します。教員はもっぱら発言を制する役割に回ります。

2年間のおおまかな流れ：

- 3年前期：共通課題（日本語テキスト報告、英語文献、ディベート、ディスカッション）
- 3年後期：研究指導（卒論テーマ探し、ディベート、ディスカッション）
- 4年前期：共通課題（日本語テキスト、ディベート・ディスカッション、就職活動）
- 4年後期：研究指導（卒論作成、ディベート、ディスカッション）

評価方法：

40点：分担発表、準備の程度

60点：ゼミ運営への協力的行為の有無。

形だけの出席ではなく、自発的な発言のみを評価します。

発表時のドタキャンは、即アウトもしくは出席停止です。

他者への配慮や思いやりを欠いた利己的行動には厳しく対処します。

対象：

経済学科の学生のみを対象とします。

ゼミ生の声：

- ・「普段は学生主体でさせてもらっていますが、詰まった時や補足説明などわかりやすく解説して下さいます。頭の中がモヤモヤしていた部分が、一気に解消できたことが度々ありました。」
- ・「世界は広い。いや、福岡県ですらかなり広い。そこには君の将来を左右するモノが溢れている。」

もう実感しているはずだ。江里口ゼミでは、自由の風が吹いている。嘘だと思えば遊びに来てよ。きっと虜になるから。」

- ・「緩やかな雰囲気が漂うゼミです。ディスカッションの場が多く、一つの発言が様々な意見を生み、深まっていく事が楽しいです。たまに補足説明を先生がしてくれるのですが、それが解りやすいし面白くて、個人的に大好きです(笑)。聞く力、話す力、場を作る力を身につけたい人にはオススメのゼミです!!」
- ・「江里口ゼミは緩すぎることもなく固すぎることもなく、とてもアットホームな雰囲気の中で活動しています。内容も就活の場や社会に出た時に最も必要となる相手との対話力を主に、様々なスキルを身に付けることが出来ます。」
- ・「江里口先生のゼミでは、生徒が自主的に、かつ自由な討論は場を作っていきます。和んだ雰囲気なため、堅苦しいテーマでも先生も生徒もみんな笑いながら毎週楽しくディスカッションなどを行っています。」

教員自身の声：

- ・「このゼミは良い意味で個性的で芯の強い人が多く集まってくれているように感じます。なので、いつも楽しく授業させてもらっています。そしていつもゼミを熱心に盛り上げてくれているコアメンバーたちは、みなさん就職先も抜群に良いようです。ゼミ生は僕個人としても自信をもって送り出せる好人物ばかりで、会社の人事部もさすがプロだな、と感じています。」

各種ゼミ・イベントについて：

ゼミを盛り上げる企画があれば、幹事を中心に、積極的に出してください。ペースは学生の自由です。教員はサポート役にまわります。最近は百道浜でのバレー、アウトドア・イベント、BBQ、カラオケなどが楽しかったです。昨年度はコロナ禍で、モノポリー大会、安心安全のボウリング大会をなんとか実施しました。

選抜方法：

事前に相談がある人は、eriguchi@seinan-gu.ac.jp まで質問してください。

卒論テーマの例：

「子育て支援と社会保障」、「教育現場の経済学」、「幸福の経済学」、「ソーシャルキャピタルとスポーツ」、「幼児の経済学」、「NPOと社会変化」、「営業の心理学」、「ワンピースに見るリーダーシップ論」、「マルサスと現代」、「インバウンド消費と日本の観光政策」、「音楽業界とCDの売り上げ」、「ソーシャルネットワークとアイドルの宣伝戦略」、「銀行はどう見られてきたか」、「マネジメントと部下力」、「広告とマーケティング」、「日本の農業の将来」、「人間関係とひとの心理」、「スウェーデンについて」、「女性労働と子育て」

相談を歓迎します：

研究テーマについて疑問がある人はメールで質問して下さい。最初は明確なテーマが浮かばないでしょうから、これを機に知恵をひねりましょう。



2016年から2017年にかけて1年間、西南学院大学から派遣されて、イギリス・オクスフォード大学に客員研究員として滞在しました。意外や意外、オクスフォードでは、ちょっとユル過ぎるのではないかと心配になるほど大らかなヒューマニズムと、凜としたジェントルマンのマナーとが両立して高い成果を生み出していました。日本の経済組織の価値規範（お客様第一、働き過ぎ、プライベート軽視）の再考にあたっても有益な事例になる気がしました。英語やイギリスに興味のある人の参加も歓迎します。

歴代ゼミ生の進路・内定先：

日本銀行、ソフトバンク、岡三証券、セブンイレブン、マイナビ、三井のリハウス、佐賀銀行、アパレル関係、農協、北九州市役所、福岡銀行、三井住友信託銀行、肥後銀行、大和ハウス、山口銀行、タカラスダンダード、福岡市役所、日本ハム、都城ケーブルテレビアナウンサー、リクシル、大和証券、ミュージシャン、三菱UFJ銀行、野村證券、日興證券、福岡県庁、各市役所、芸能エンターテイメント事務所、アパレル系、郵便局、農協、第一生命



—— プロフィール ——

氏 名 花田洋一郎

出身地 福岡県宗像市

生年月日 1968 年 4 月 4 日

担当科目 西洋経済史

趣 味 天体観測、クラシック音楽（とりわけヴァイオリン）、フランスポップス(特に Daniel Balavoine, France Galle など)、油絵、史跡探訪、映画鑑賞、模型製作（1/35 MM シリーズ専門）、インコの世話

メールアドレス：hanada@seinan-gu.ac.jp

◇西洋経済史とは◇

私の担当科目は「西洋経済史」です。西洋経済史は、ヨーロッパの歴史を主にその社会経済的側面に注目して研究する学問で、歴史学と経済学を両親として生まれた学問です。したがって、経済学の理論や考え方を基礎にしながら、文献史料の批判的分析と先行研究の積極的摂取を通じて、経済活動の歴史を読み解いてゆくことを主眼としています。

西洋経済史の主要なテーマとしては、古代では、ローマ帝国衰退論、ポスト＝ローマ世界、中世では古典荘園制、遠隔地貿易と在地交易、中世都市形成による経済成長、都市ギルドと農村工業などがあり、近世以降は大航海時代と商業革命、宗教改革、プロト工業化、産業革命、資本主義世界体制の成立、大不況と帝国主義など、テーマは多彩です。

私の専門を具体的に説明すると、13 世紀から 16 世紀までのフランス中世都市の行・財政制度の研究をしています。特にシャンパーニュ・ブルゴーニュ地方の都市の租税制度と財政を管理する行政組織の歴史的展開のメカニズムに関心があり、それとの関連でシャンパーニュ大市（11 世紀から 13 世紀にかけて繁栄した国際市場）、都市の防備施設（百年戦争期の都市の囲壁、市門や塔）、都市の日常生活（治安維持と衛生）についても勉強をしています。15 世紀フランスの救世主ジャンヌ・ダルクにも強い関心を持っています。

ここ 20 年ほど世の中は実益主義に走り、歴史を勉強しても役に立たないとか、未来を描けない歴史学には存在価値はないなど痛烈な批判がなされています。しかし、未来が未知である（予想できない）のと同様に、過去もまた未知の領域です。たしかに様々な文献・史料を用いて、時間と労力と費用をかけて、さらに長期的視点に立って過去を調べるという作業は、とても大変な作業です。しかしこうした作業から得る経験は、今後の人生で困難に直面したときにどのように判断して対処するか、決断を迫られたときに役に立つでしょう。つまりある問題が生じた時、その問題の背景を多様な視点で見つめなおし、問題に絡む政治・社会経済・文化・人間関係に目配りし、長期的な時間軸で捉えるという一連の思考は、問題に対する複数の対応策を生み出してくれるはずです。また当然のことですが、国際化が定着した現在、外国の歴史を勉強することは外国をより深く理解する

ことに直結します。外国人とコミュニケーションをはかる上でも歴史的知識が大きな武器となることは、経験からいって確かです。歴史の勉強は、語学と共に異文化交流の第一歩です。

◇ゼミの演習テーマ◇

【テキスト】

この演習は経済学科の学生に対して開講されるものです。2021年度は、ユルゲン・コッカ（山井敏章訳）『資本主義の歴史 起源・拡大・現在』人文書院、2018年を前期のテキストとします。ドイツの代表的歴史家による資本主義の歴史研究で、経済史の諸理論（マルクス、ウェーバー、シュンペーターなど）から、商人資本主義（中世経済）、拡大期（近世経済）、資本主義の時代（近現代）までを手際よく簡潔に論じています。

後期はグローバル・ヒストリーの観点から20世紀の歴史を振り返る、北村厚『大人のための現代史入門 20世紀のグローバル・ヒストリー』ミネルヴァ書房、2021年をよみます。本書を通じて、戦争と平和、人種協調とジェノサイド、対立と融和など20世紀の光と闇を学び、21世紀を展望する視点を身につけます。

【ゼミの進め方】

〔前期〕ゼミ生を2～3人一組のグループに編成し、グループごとにテキストの章を分担・報告する。また世界の最新の出来事についてもフォローしながら、各国・各地域の歴史と現在について理解を深めます。夏休み中には2冊以上の課題図書を読んで、8000字程度のレポート提出を義務にしています。レポートは文章・論理展開をチェックして返却します。

〔後期〕基本的に日本語テキスト講読を通じて、歴史的知識を身に付け、批判的精神を習得します。

◇演習の評価方法◇

試験はしません。各自の演習での参加態度、報告、議論を通じて総合的に評価します。夏休みのレポートも評価対象です。原則として、事前連絡なしの無断欠席を3回するとゼミの単位は認めません。遅刻は2回で欠席1回とみなします。ここ数年、遅刻、欠席を軽く見るモラルハザードの傾向がありますので、予め基準を明確にしておきます。

◇演習の選抜基準◇

まず大前提として歴史が好きであること。好奇心旺盛で読書を通じて調べ物をするのを厭わない人を望みます。また外国語が好きな人を強く望みます。礼儀をわきまえ、大人として対応できる人。遅刻・無断欠席に罪悪感を持たない人、責任感のない人はお断りします。「西洋経済史」の受講も必須ではありませんが、望ましいです。取得単位数は考慮しません。

申込書には、自己紹介と共にどのような歴史テーマに関心があるかを書いてください。選考は基本的に書類審査で行います。

◇ゼミの方針◇

とにかく楽しく勉強したいので、和やかな雰囲気を保ちたいです。ゼミの仲間の話に耳を傾け、自分の意見を自然に言い、議論できるような場にしたいです。感染症終息まではゼミコンは中止です。従来は福岡市内にある世界各国料理店をゼミコンの場としています。ただ近年は、コンパを敬遠する学生の気質もあって行っていません。

◇ゼミの参考図書◇

金井他編『世界経済の歴史ーグローバル経済史入門ー』名古屋大学出版会、2010 年
R・キャメロン、L・ニール（速水監訳）『概説 世界経済史 I・II』東洋経済新報社、2013 年
斎藤修『比較経済発展論。歴史的アプローチ』岩波書店、2008 年
同『環境の経済史 森林・市場・国家』岩波現代全書、2014 年
水島司『グローバル・ヒストリー入門』（世界史リブレット 127）山川出版社、2010 年
堀越宏一・甚野尚志編『15 のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』ミネルヴァ書房、2013 年
柴田三千雄『フランス史 10 講』岩波新書、2006 年
坂井榮八郎『ドイツ史 10 講』岩波新書、2003 年
近藤和彦『イギリス史 10 講』岩波新書、2013 年
小澤卓也・田中聡・水野博子『教養のための現代史入門』ミネルヴァ書房、2015 年
近藤和彦『イギリス史研究入門』山川出版社、2010 年
佐藤・中野編『フランス史研究入門』山川出版社、2011 年
木村・千葉他『ドイツ史研究入門』山川出版社、2014 年
小田中直樹『ライブ・経済史入門 経済学と歴史学を架橋する』勁草書房、2017 年
南塚他編『新しく学ぶ西洋の歴史ーアジアから考えるー』ミネルヴァ書房、2016 年
君塚直隆編『よくわかるイギリス近現代史』ミネルヴァ書房、2018 年
剣持久木編『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018 年
梅崎透他『よくわかるアメリカの歴史』ミネルヴァ書房、2021 年
佐藤昇編『歴史の見方・考え方 大学で学ぶ「考える歴史」』山川出版社、2018 年
小野塚知二『経済史 今を知り、未来を生きるために』有斐閣、2018 年
河崎・奥編著『一般経済史』ミネルヴァ書房、2018 年
北村厚『教養のグローバル・ヒストリー』ミネルヴァ書房、2018 年
松尾秀哉他編著『教養としてのヨーロッパ政治』ミネルヴァ書房、2019 年
金澤周作監修『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020 年
河崎・村上・山本『グローバル経済の歴史』有斐閣、2020 年
中野・加藤編著『フランスの歴史を知るための 50 章』明石書店、2020 年
ウィンストン・ブラック（大貫監訳）『中世ヨーロッパ ファクトとフィクション』平凡社、2021 年
加藤博『イスラム世界の経済史』NTT 出版、2005 年

◇最近の主要な卒論テーマ◇

ゼミでは卒論を重視します。参考文献数は50冊以上を求めています。外国をテーマとするので、英語、フランス語などの外国語文献を使って、卒論を書くことをすすめます。数年に一度ですが洋書を読破して、卒論を書いてくれる学生もいます。以下に主要な卒論テーマを列挙します。

【過去の卒論のテーマ】

西洋社会経済：ローマ帝国、百年戦争の軍隊、黒死病などの疫病、イタリア都市史、中世の国際貿易、中世パリ史、城塞史、イギリス産業革命、軍事史

宗 教 史：タルムード研究、イスラーム教、教会建築史(ロマネスク、ゴシック、ロココ)、大聖堂、修道院

文 化 史：西洋音楽史、服飾史、絵画史、万国博覧会、メルヒェン・年代記などの分析、西洋哲学史

民 族 史：ユダヤ人、ヴァイキング、イタリア商人

軍 事 史：WW I、WW II、ベトナム戦争、軍事技術史、戦争の歴史

人 物 史：カエサル、五賢帝、ジャンヌ・ダルク、マリー・アントワネット、ナポレオン、アドルフ・ヒトラー、マルクス、ケインズ、シュンペーター、ルノワール、モネ、ベートーベン、ブラームス、ワグナー

◇ゼミ生の過去の就職先◇

銀行・証券などの金融系、住宅、食料・飲料、電気、自動車、IT、高校・中学の県立・私立地歴教員・大学教員、公務員(省庁、県庁、市役所など)、日本郵政、警察(福岡県警、大分県警など)、生命保険、ホテル、ブライダル、旅行、製薬、出版、グランドスタッフ、スチュワーデス、アナウンサーなど。海外青年協力隊員、空港管制官、日本語教師など、高い語学力を要する仕事に就く人もいます。

私の研究対象であるフランス都市です。写真はすべて私が撮影しました

中世都市プロヴァンのセザール塔
(シャンパーニュ伯の居城)



ランス大聖堂 (歴代仏王の戴冠式場)



トロワの中世家屋 (13 世紀)



バル＝シュル＝オーブのサン＝ピエール教会
(木造回廊で市場取引)



シャンパーニュ大市開催都市プロヴァンの市場広場



シャンパーニュ大市開催都市ラニィ＝シュル＝マルヌの市場広場





—— プロフィール ——

氏 名：平井 秀明（ひらい しゅうめい）

生年月日：1978年 8 月16日（東京都出身）

2021年度 担当科目：ミクロ経済学Ⅰなど

専 門：ミクロ経済学，ゲーム理論

趣 味：スポーツ全般

● 演習内容

[1] テーマ

テキスト関連：ゲーム理論

グループでの調査研究活動

[2] テーマの解説

- ゲーム理論とは：

私たちは、日々様々な決断をしています。少しかたい言葉を使えば、意思決定をしています。今日は授業に出るか（？）、お昼は何を食べようかといった日常の事柄から、どの大学に入学しようか、どういった業種の会社に就職しようかといった人生の節目まで。私たちの生活は意思決定に始まり意思決定に終わると言っても過言ではありません。また、意思決定をするのは個人だけではありません。企業は、商品の価格を幾らにしようか、新商品をいつ販売するかなどを決めています。また、政府も消費税を上げるか否か、他国と自由貿易を締結するかなどの意思決定を行っています。ここで重要なことは、これら意思決定の多くは自分（自社・自国）だけで完結するものではないということです。例えば、企業が自社の商品価格を決める際に、ライバル企業の商品価格は幾らか（幾らになるか）を予想することは、自社商品の売り上げに大きな影響を与えるためとても重要になります。このように、私たちの意思決定は他の人々の意思決定に影響を及ぼし、同様に、他の人々の意思決定は私たちの意思決定に影響を及ぼしています。ゲーム理論とは、このような複数の意思決定者の間の相互依存関係を分析する理論です。

- グループでの調査研究課題：

これまでの本ゼミにおけるグループでの調査研究活動テーマとしてその一部は、下記の通りです。
テロ対策：先制行動と抑止行動／教育の経済学：所得格差と教育格差／市場競争は本当に企業の利益を低下させるのか？／日本の観光産業の課題／環境問題の解決と企業の利潤最大化は両立できるのか／ディズニーランドのジレンマ再考／フェアトレードの経済学／ダイナミックプライシングは敵か味方か etc.

上記のように、これまで本ゼミ生は主体的に多様なテーマについてグループでの調査研究活動に取り組んできました。もちろん、グループでの調査研究への取り組みは、教員も含めて試行錯誤し

てきました。例えば、教員としてはもう少しゼミとして扱うテーマを絞った方が、研究テーマの深化と継承の面から望ましいかと考えたこともありました。しかし、毎年度の受講者の興味関心や3, 4年生での共同研究は難しい側面もありました。ただ、そうした試行錯誤の中でもグループでの調査研究活動は、次のようなメリットが学生の皆さんにあると思います。

問題発見（設定）能力の涵養／主体的な学修（文献収集・分析）／コミュニケーション、プレゼンテーション能力の向上／就職活動の面接などでアピールするネタ（？）etc.

2020、2021年度とコロナ禍で対面でのコミュニケーションが極めて限定される中でしたが、良い意味で担当教員の予想を裏切り当該年度らにおけるゼミ生もグループでの調査研究活動を自発的に継続してくれました。そうしたゼミ生の姿をみていると、グループでの調査研究活動は本ゼミの一つのカラーとなってきたのかと思っています。

[3] 進め方

下記記載のテキストとグループ毎の調査研究テーマに関して報告・議論をしていきます。講義時間中におけるテキストと調査研究報告の時間割り当ては、例年、前期は前者が、後期は後者に充てる時間が多くなっています。

[4] テキスト

渡辺隆裕（2008）『ゼミナール ゲーム理論入門』，日本経済新聞出版社。

[5] 参考書

適宜、紹介していきます。

[6] 評価方法

参加態度・報告内容などを総合的に見て評価します。

[7] 各種ゼミ・イベントについて

ゼミを盛り上げる企画（ゼミコンパ、ゼミ合宿など）があれば、受講生の皆さんから積極的に提案してください。例年（コロナ禍の2020、2021年度は除く）、ゼミ生間の親睦を深めるため、前・後期に1回はゼミコンパ（縦コン含む）を開催しています。また、2017年度からは年度末に学内他ゼミとの合同研究報告会を実施し、学外のゼミナール大会「日本学生経済ゼミナール」にも（ゼミ3・4年生合同で）参加していました（学外のゼミナール大会参加は任意）。

[8] ゼミ生の主な進路

（株）ゆうちょ銀行、損害保険ジャパン日本興亜、株式会社マイマイスクール、NECソリューションイノベーター、西南学院大学大学院、（株）イズミ、メイワパックス、福岡入国管理局、西日

本シティ銀行、総合メディカル株式会社、福岡トヨペット、日本ビジネスシステムズ、福岡財務支局、(株)ピアラ、大東建託リーシング、公益財団法人九州生産性本部、(株)日本ピュアフード、(株)はせがわ、西日本鉄道、福岡銀行、富士通、九州大学、福岡ソフトバンクホークス、福岡山王病院、トラヤチェーン、(株)新生銀行、長崎県庁、福岡県庁、クラブツーリズム、東京エレクトロン、スターフライヤー、(株)メンバーズ、(株)小野薬品工業、久光製薬、福岡市役所、(株)SECOM、(株)三井情報、(株)九州電力、(株)日本コンピュータコンサルタント、(株)インフォセス、(株)プレコフーズ、(株)パナソニック、(株)三菱電機、(株)ウチダエスコ など

[9] 応募を検討している学生への要望

- 本演習の履修要件とはしませんが「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」を履修済み、もしくは履修予定であることが望ましい。
- 本演習ではゼミ生間の主体的なコミュニケーションに基づくグループでの調査研究活動を重視してきました。従って、ゼミ生間で積極的なコミュニケーションを図り、自身を成長させたいと希望する学生に集まって欲しいとは願っています。

[10] 選考方法

- 担当講師の「演習Ⅰ」は経済学科の学生のみが履修可能となっています。
- 演習Ⅰ申込書、志望理由と（面接を実施すれば）面接内容を総合的に見て判断します。
- 面接の有無は募集期間中に Moodle を通してアナウンスするので、必ず確認してください。
- 選考の結果、次年度本ゼミの受講が決定した皆さんは、必ず担当講師に選考結果の翌日までに E-mail で連絡をしてください（メールには氏名、学部・学科、学年、在学番号を記載してください）。
※皆さんからのメール・アドレスを基に、次年度の「演習Ⅰ」用のメーリング・リストを作成し、今年度中も若干の連絡事項などで利用するかもしれません。したがって、大学発行のアドレスと共に、より頻繁にチェックするプライベートのアドレスがあれば併せてお知らせください。

[11] その他

- 本演習に関して質問があれば、hirai@seinan-gu.ac.jp 宛てにメールを送ってください（メールには件名、氏名、学部・学科、在学番号を記載してください）。



—— プロフィール ——

出身：埼玉県。2006年4月に初めて福岡に移り、今年で福岡在住16年目。その間、2010年8月から9月まで中国・吉林省の長春市に派遣交換研究員として滞在し、2012年9月初旬から2013年9月初旬まで香港にて在外研究に従事。

専門：労働経済学、人的資源論、労働調査、社会政策、大学史

趣味：下記の通り、いろいろ。

・電気街や古本街を巡り歩くこと。電気街では、秋葉原（東京）・日本橋（大阪）・大須（名古屋）は制覇済み。福岡にはそうした場所が見あたらないのが残念。

・古墳巡り。九州は装飾古墳や石人石馬など、全国的にも珍しい古墳の多い地域です。47都道府県の著名な古墳を制覇するのが目標です。九州では鹿児島県が未踏なので、今年の大連連休か夏休みに行こうと計画していたのだけど、3月に静岡、5月に唐津の古墳を訪問できたものの、8月に緊急事態宣言が出てしまったので鹿児島行きはお流れに……。

・国内旅行。路面電車の乗車、城巡り、博物館・美術館・文学館巡りなど、個別テーマで全国各地を巡るのが趣味。

・海外旅行。これまで訪問・長期滞在したのは以下の15ヶ国・地域です。

中国、台湾、香港、マカオ、韓国；タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナム；インド、ネパール；イタリア、アイルランド、イギリス；アメリカ合衆国。

このうち中国は沿岸部を中心に12都市を訪問済み。パスポートの期限が切れたままで、新型コロナのこともあるので、当分は国内に止まる見込み（苦笑）。

・上記以外：マンガやアニメ・映画の鑑賞（ただし主に1980年代以前のもの）やラジオ番組を聞くこと、世界のチャイナタウン巡り（国内は制覇済み）、世界遺産巡り、産業遺産巡り、など。ちなみに最近よく読んでいるマンガは『ゴールデンカムイ』『1日外出録ハンチョウ』『明日クビになりそう』等々で、特に『ゴールデンカムイ』は最近、連載7年目にしてついに最終章に突入し、今後の展開が楽しみだったりします。

演習テーマ：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と日本

このゼミでは、（1）抽象的な「経済学（economics）」よりも具体的な「経済問題（economic issues）」もしくは「政治・経済問題（political and economic issues）」を重視する（2）九州を中心に地域話題を多く取り上げる、ことを通じて、（3）ゼミ参加者が政治・経済ニュース（特に地域のそれ）をより深く理解できるようになる、ことを目指します。そのために2021年度に引き続き、2022年度ゼミでも上記テーマを設定しました。

昨年3月11日にWHOが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の「パンデミック（感染症

の世界的な大流行)宣言」を出し、既に1年半が過ぎました。「日本モデルによる新型コロナの流行抑制の成功」「流行は短期で収束する」といった当初の楽観的な評価や観測は裏切られ、相次ぐ「変異株」の流行等もあって未だ収束の兆しが見られないCOVID-19は、収束後もしばらくの間、その爪痕を様々なかたちで社会に残すと考えられています。

そこでこのゼミでは、政府発表や各種報道、出版物等の客観的な事実に基づき、この間にCOVID-19の大流行によって政府や企業、自治体、学校(特に大学)、市民がどのような影響を受けたのか、またこれらの当事者がどう対応したのか、などを時系列で把握します。その上で、問題の背景にある法制度(特に公衆衛生のそれ)や科学的知見(COVID-19を始めとする感染症の基礎知識)等を学び、問題をより深く理解できるようにします。更にこうした基礎知識を元に、政府や自治体(特に九州)が講じた様々な政策の妥当性を、政策決定の政治過程にまで遡って検証したいと考えています。

具体的には、前期にCOVID-19に関する入門書を輪読し、後期ではCOVID-19流行下で起きた様々な出来事を各種文献や記事、データを元に検証してゆこうと思います。「様々な出来事」としては、例えば東京オリンピック・パラリンピックの延期と開催、首相交代、度重なる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」等による行動制限と緩和、PCR狂想曲とワクチン狂想曲、Go Toキャンペーンや各種給付金・補助金の功罪、といったものを考えています。

21世紀は「感染症の世紀」とも言われており、今後もCOVID-19以外の未知の感染症(新興感染症)が大流行することが懸念・警戒されています。その背景には、ヒトの移動や経済活動の急速かつ大規模なグローバル化、歯止めのかからない森林破壊等の乱開発、野生動物取引の活発化による「動物由来感染症」の増加、都市への人口集中等を通じて、人間社会が感染症の流行しやすい構造へと変化していることがあります。こうした意味で、感染症は医学や疫学のような自然科学の問題に止まらず、経済学を含む社会科学の問題でもあります。COVID-19に関する知見は日々更新されており、ついてゆくのが大変ですが、COVID-19は人間なら誰でも罹患しうる感染症であるという意味では、文系・理系を問いません。このゼミでは、そのような「文理融合」的な問題意識をもったゼミ生と一緒に学んでゆきたいと思っています。

選考方法など

入ゼミ希望者は、申込書の志望欄に下記の項目を記入して下さい。

- ・簡単な自己紹介 / 自己アピール
- ・ゼミで開催したいイベントの具体的な企画(※実施の可否は今後の情勢次第)

ゼミ生には原則として、「労働経済学」、「労働政策」(もしくは「社会政策」)のうちのいずれか2科目(以上)を受講することを義務づけます。また4年時には就活レポートを提出してもらいます。

質問があれば、k-isa@seinan-gu.ac.jp宛にメールで問い合わせをして下さい。

※なお、この演習は経済学科の学生を対象としています。



(キハ 25)

—— プロフィール ——

担当科目：産業組織論

演習のテーマ：デジタル市場

最近関心のあること：カレー食べ歩き、鉄道経由でマイナー都市巡り
(肥前山口、飯塚、田川後藤寺、出水、川内、甘木、
玉名、行橋、筑紫)

経済学科の学生を対象とする演習です。

テーマの解説：

産業組織論は企業や産業に関心を払う分野で、ミクロ経済学の応用という色合いが強い研究領域です。このゼミでも長年「企業・産業・市場」にテーマを絞って勉強しています。例年、産業組織論をより具体的かつ実践的なアプローチから学んでいくことを目標に、ゼミを進めていきます。

昨年度から『デジタル市場』をメイン・テーマに設定し、関連する文献を読んでいます。デジタル市場は、インターネットを利用してサービスや商品を提供する市場です。ゼミで扱う具体的なテーマは、e コマース、デジタル財、デジタル・プラットフォームです。

(1) e コマースとは、Amazon や楽天に代表されるように、小売業者がインターネットを介して商品を販売することです。e コマースにおける流通や価格や販売促進のしくみを中心に、産業組織論の観点から学習していきます。

(2) デジタル財は、音楽・映像・ゲームなどのデジタル化されたコンテンツであり、インターネットを経由してダウンロードしたりストリーミングしたりして消費します。その需要構造や費用構造について、ミクロ経済学の概念を援用して分析していきます。

(3) デジタル・プラットフォームは、Google、Amazon、Airbnb、Uber に代表される、近年加速度的に発展しているビジネスで、理論研究も精力的に取り組まれています。プラットフォームのしくみと、そのビジネスモデルを理解していきます。

それぞれのトピックについて、ビジネス書を中心に基礎知識や理論を身に付けたのちに、新聞や経済雑誌を用いて現状を調査していきます。時間に余裕があれば、市場のデジタル化により実現した、シェアリング・エコノミー、フリーミアム、サブスクリプション、マッチング、またそれを支える技術である IoT、アルゴリズム、クラウド等の基礎知識を学習していきたいと考えてます。

担当教員は経済理論について比較優位を有していますが（というか一応専門分野です）、デジタル技術を用いた最新のビジネスには付いていきません。他方、受講生の中にはそのようなサービスや商品に詳しい人が多いのです。したがって、ゼミの進行は、担当教員はデジタル市場に関係する経済理論について語り、受講生は具体的なサービスや商品の概要を説明するというスタンスになると思います。ちなみに昨年度のゼミでは「Aircloset」「akippa」「IKEA Store アプリ」「CrowdWorks」

「CAMPFIRE」「n次創作（千本桜など）」というサービスについて、受講生からレクチャーを受けました。大変勉強になりました。

産業組織論の理論を知っていると、市場のメカニズムや企業行動の本質を見抜くことができます。どんなに技術が進歩しようとも、経済法則が大きく変わることはないからです。デジタル市場も例外ではありません。理論と現実、両者をバランスよく学ぶことで、流行を闇雲に追いかけて手放しで称賛するのではなく、冷静な視座で俯瞰できるようになることが、このゼミの理想とするところです。

テキスト：（ゼミで扱うテーマが書かれているテキスト）

- [1] 株式会社いつも。『先輩がやさしく教える EC 担当者の知識と実務』（翔泳社，2017 年）
- [2] 伊藤元重『ビジネス・エコノミクス（第2版）』（日本経済新聞社，2021 年）
- [3] 今枝昌宏『デジタル戦略の教科書』（中央経済社，2020 年）
- [4] デヴィッド・S・エヴァンス，リチャード・シュマレンジー『最新プラットフォーム戦略：マッチメイカー』（朝日新聞出版，2018 年）
- [5] カティサーク押切孝雄『はじめてでもよくわかる！デジタルマーケティング集中講義』（マイナビ出版，2017 年）
- [6] 西川英彦，澁谷覚（編集）『1からのデジタル・マーケティング』（碩学社，2019 年）
- [7] 根来龍之『新しい基本戦略・プラットフォームの教科書：超速成長ネットワーク効果の基本と応用』（日経 BP 社，2017 年）
- [8] 根来龍之『集中講義デジタル戦略：テクノロジーバトルのフレームワーク』（日経 BP，2019 年）
- [9] アンドリュー・マカフィー，エリック・ブリニョルフソン『プラットフォームの経済学：機械は人と企業の未来をどう変える？』（日経 BP，2018 年）
- [10] 丸山雅祥『経営の経済学』（有斐閣，2017 年）
- [11] ヴィリ・レードンヴェルタ，エドワード・カストロノヴァ（井川歩美（訳））『仮想経済のビジネスデザイン』（サイゾー，2020 年）

演習の進め方：

テキストを一緒に読み進めます（輪読）。何人かの担当者が報告（プレゼン）をし、それに対して質疑応答・コメントを繰り返し、さらに与えられた課題に取り組むことで理解を深めていきます。これとは別に、「日経 TEST」、「ビジネス数学」、ICT に関わる検定（未定）などの問題集からコピーしたものを配布し、問題を解いていくことで、時事問題や数字や技術に強くなることを目指します。自分の手を動かすこと、自分の頭で考えることに力を入れてゼミを進めていきます。

期末試験は行いませんが、前期・後期に1回ずつ報告会を開催し、試験の替わりとします。

評価方法：

積極的に演習に参加しているか、また発言しているか、で判断し評価します。欠席が多い人、遅刻の多い人、やる気のない人、発言を求められても何も言わない人、ゼミの雰囲気悪くする人に対しては、容赦なく D 判定を下します（早めに引導を渡します）。

皆さんへの要望：

良い雰囲気と厳格な雰囲気の下でゼミが進められることを望みます。ゼミを組織・運営すること・盛り上げることが得意な人、とにかく明るい人・よく喋る人・ハイテンションの人・情熱的な人、あるいは課題に対して真剣に取り組める誠実な人を歓迎します（どれか 1 つでも当てはまれば歓迎します）。特にゼミを引っ張ってくれるリーダー格が一人でもゼミにいてくれると、ゼミは大変盛り上がります。ここ数年間のゼミ生は明るく・元気な人が多く、ゼミは毎回賑やかです。

勉強以外のイベント：

ゼミ合宿やゼミコンパは希望があれば行っています。ただし、参加は強制ではなく、参加しなくても成績に影響することはありません。あくまでも親睦が目的です。コロナ時代を踏まえて、「飲みニュケーション」以外の交流の仕方を模索しています。ゼミ旅行について、一昨年度はアフリカンサファリ・湯布院巡り（3 年生）をしました。昨年度は、緊急事態宣言解除後に、密状態を最大限回避しつつ、かつソーシャル・ディスタンスを可能な限り確保した苺狩りを行いました。今年度は未定です（社会状況次第です）。ゼミコンパや縦コンについて、昨年度・今年度とも実施しませんでした。その代わりとして、3・4 年生の間で報告会を行いました。その他のイベントについても、極力ゼミ生の意向に沿い、自主性を重んじるようにしています。ただし、勉強を阻害しないことが条件です。

ゼミ生のコーナー：

加藤浩ゼミの特徴をいくつかご紹介します♪

■自然と仲良くなれるゼミ

教室で学ぶだけでなく、イベントやコミュニケーションの場が活発なので、いつのまにか全員とても仲良くなっています。

加藤先生をはじめ、ゼミ全体が明るく和やかな雰囲気なので最高のゼミ環境です。

■学ぶ内容が面白くて楽しい

例えば『Amazon と楽天の戦略の違い』であったり、『通販サイトの仕組み』です。文字にすると難しそうに感じるかもしれませんが、私たちの日常生活と関係することばかりなので自然と理解することができ、学びがいがあってとにかく楽しいです。

■イベントが目白押し

旅行やランチ、遠足、縦コンなどのイベントがあります。親睦を深めたり思い出になり、このゼミでよかったなと思える理由の一つです。私たちは水族館やいちご狩りなどに行きました。海外へ行った年もあったそうで、各年によってさまざまなイベントを行っています。

■就活にも有益

勉強内容を企業の方から興味をもっていただけたり、入社後も活かせるような事項として評価されることもあります。

また、縦コンで先輩とも繋がりを持つことができるので、アドバイスをいただけたり色々な役立つ情報を得ることができます。

先生はいつも私たちの考えや意見を聞いてくださり、親身にサポートをしてくださいます。

加藤先生のゼミは、毎週ゼミの日が楽しみ！と思えるような内容が盛りだくさんです。

是非加藤浩ゼミに入って、大学生活後半を有意義に楽しく過ごしてください★



いちご狩り（昨年度・緊急事態宣言解除後）



ゼミ集合写真（コロナ大流行前）



ゼミ集合写真（緊急事態宣言発出前）



ゼミ報告会（今年度）

参加学生の声

活動内容 ●西新公民館を拠点とした夜間の西新校区パトロール
●Instagramを利用したグルメマップの作製

自主性の大切さを痛感。
自由度が高く一人一人の積極的な活動が求められるため
自主性がかなり鍛えられました。
最初は何をすればいいのかわからずただ時が過ぎていっただけで、何も生み出せなかったんですね。何もしないほど怖いものはないと感じたとき、「自ら考え行動し発信する」大切に気づけたと思います。



参加学生の声

活動内容 ●まちとみんなを繋ぐ活動

期間ごとに明確な目標を設定する。
自分たちで研究・開発した寄せ鍋の販売と手作りのまち歩きMAPの作成・配布は、試行錯誤の連続でした。しかし地域の方々や本学卒業生の方など、多くの方々が支えて下さったおかげで、大学祭本番では形になって。このときの**達成感は言葉にできません。**
そして今も新たなプロジェクトに向けて動き始めています。



担当教員：経済学部 教授 小出秀雄

経済学は「理論」が中心の学問といわれています。「景気回復に必要な経済政策とは」「地方創生に有効な策とは」など、私たちの生活を「経済」という視点から分析し、そのメカニズムを知識として身につけていきます。
しかし、知識は「受け身で学ぶ」だけでは、自分のものにはなりません。授業で学んだ理論は本当に正しいのかを実際に検証してこそ、「生きた知識」となります。西南まちづくりラボでは、大学がある西新

や少し離れた蜷浜を実験の場にして、学んだ知識が本当に正しいのかを検証し、知識を生きたものにしようとしています。
「地域活性化」をテーマに掲げる活動は、学生のうちに実社会を先取りして体験できるという魅力も併せ持ちます。幅広い年齢層の方々と交流しながら、実際にプロジェクトを動かしていく経験は授業では得ることのできない学びがあり、社会に出てから役立つ実践力やコミュニケーション力、リーダーシップなどを育みます。



《西南学院大学パンフ「まなびのおかわり：産学官連携の取り組み」より（下半分）》

—— プロフィール ——

1971(昭和46)年11月10日生まれ。新潟県三条市(金物・刃物のまち)出身。「西南まちづくりラボ」顧問。担当している専門科目は、環境政策、各種演習、まちづくり・ひとづくり実習(2022年度より正規科目)。

専門：環境経済学、地域・大学連携、次世代教育。

行政の仕事：春日市環境審議会会長、福岡市環境審議会会長代理、福岡市西部工場再整備検討委員会委員など。

地域的工作：福岡市立百道小学校・PTA元会長(2017年度)、同小・松葉の会元会長(2016年度)。

趣味：福岡市を含む旧筑紫郡のマニアック探索(下図は成果の一例)、ワーク・ライフ・ミックス(働きながら遊ぶ)。

公開情報：大学教員データベース <<http://seis-trinf.seinan-gu.ac.jp/detail/profile/0000001980.html>>、Facebook <<https://www.facebook.com/hideo.koide.96>>、YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCT_DmtS6Elmq7yW-XBVHtfQ>



【演習のねらい】

この演習では、SDGs（持続可能な開発目標）に基づく地域づくりを解説したテキストを輪読し研究する「座学」を行う一方、大学周辺地域を具体的な活動・研究フィールドとして、地域の方々やゼミ外・学外の学生有志とともに「実践」します。つまり、座学と実践を行ったり来たり、うまくいったり失敗したりしながら、将来の社会・地域を担う主体的な人材を育成します。

なお、この演習は経済学科の学生を対象としています。

【演習のテーマ、テキストと段取り】

[1] 今のところ、下記のテキストを使用する予定です。

＊寛裕介著『持続可能な地域のつくり方：未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン』（英治出版、2019年）

[2] テキストを輪読する一方、個人あるいはチームでテーマを設定し、活動・研究報告を行います。また、地域活性化イベントの企画・運営を、日常的に実践します。そして、前期末と後期末には、自分およびチームの活動・研究をまとめる形で、レポートを提出します。

[3] 座学では毎回、報告者1・2名に対して司会者1名をつけ、報告（プレゼン）と討論（質疑応答）を行います。報告者は報告に先立ち、その内容を端的にまとめた「レジュメ」や補足資料を参加者に配布します。レジュメの棒読みになったり単調で退屈な報告になったりしないよう、かなりの工夫が必要です。特にチーム報告では、PowerPointを活用したわかりやすい表現を心がけます。

[4] また、司会者は報告・討論全体を仕切る立場として、参加者に発言を求めたり、議論を総括したりする役割を担います。こちらも神経を使う仕事で、場の流れをつくることが要求されます。

前回より、確実にうまくなりましょう（うまくなるように「頑張る」のは当たり前）。

[5]期末のリポートをいかに作成するかは、非常に重要なテーマですので、指導を徹底します。基本は、文章（一文、一段落）は短く簡潔に、です。なお最近は、インターネット上に漂う文章をコピー＆ペーストしたり、図表の出所を書かなかったりする学生が目立ちますが、Moodleの機能“Turnitin”を使って、不正をすぐに暴きます。

[6]小出ゼミを中心とする「西南まちづくりラボ」は、2021年2月下旬にZoomで、「全国まちづくりカレッジ2021 in 福岡～笑～」を開催しました。小出ゼミは普段から、全国の大学の学生たちと交流します。

【参考書 and more】

参考書については、新年度の講義要綱にて、あるいはその都度指示します。インターネットの検索ばかりに頼らず、図書館に所蔵する本や書店に並んでいる新刊などを食欲に探して読みましょう。もっとも、ネット上にも学术论文や有益な文献が無数に存在しますので、話は単純ではありませんが。

なお、Wikipediaだけ眺めて悟った気になる学生が、年々着実に増えています。手っ取り早く知りたいという（検索）ツールとしてWikipediaは有用ですが、その脚注、参考文献、外部リンクなど、その説明の土台を成している情報までさかのぼって調べていくことが重要です。これは、紙製の文献であっても同様です。その筆者の拠り所としている情報は、脚注や参考文献に明記されています。

現在から過去にさかのぼり、経緯を丹念に調べ、再び現在に戻り整理することによって、学問というものが「検索一発」で理解できる代物ではないことを実感してください。

【評価方法】

出席状況、平常点、リポートの内容、主催あるいは協力イベントへの貢献度に基づいて評価します。

【演習受講者の選抜基準】

面接を行い、座学と実践に対する意欲を確かめます。

【ゼミ生への要望】

時間厳守、みんなに挨拶、自主的な発言、チームワーク、顔の見える活躍

【2020年度の卒業論文のタイトル（在学番号順、抜粋）】

「世界のパンの現状とその波及」「俺とバルサ」「祭りと地域活性化について：大蛇山祭りの魅力」「日本の漫画文化」「野球の歴史と新たな選択肢“準硬式野球”について」「福岡に忍者村を作りたい！」「クラウンとVIPカー：時代と共に変わりゆく車」

【西南まちづくりラボ（2019年度～）】

小出ゼミを中心とする「西南まちづくりラボ」は、何を隠そう福岡市の公認団体です。地域での実践活動には他学科・他学部の学生も参加しており、また、まちづくりに主体的に関わっている全国の大学の学生たちとも交流を行っています。

以下の画像は、2019年度の西南まちづくりラボの活動の一部です。地域行事をサポートしつつ、自分たちがやりたいことを企画・運営しています。2020年度～21年度はコロナ禍のため、思うように活動ができていませんが、その中でも最後の画像で示しているように、少人数で取材に赴き、動画を作成し公開しているチーム（SG 由）もあります。

拠点①

西南まちづくりラボ

M'sコミュニティ（西区姪の浜3-3-35）



2020年_秋～冬～春

土曜日に小学生と交流

拠点②

西南まちづくりラボ

姪浜公民館（西区姪の浜2-10-6）



探検少年祭り主催



2020年_秋～冬～春

夏祭りサポート@姪浜小

拠点③

西南まちづくりラボ

西新公民館 (早良区西新2-10-10)



夏祭りサポート@西新小



餅つきサポート
@西新小



校区防犯パトロール

2021年_10月~11月_4回

拠点④

西南まちづくりラボ

西南学院大学 (早良区西新6-2-92)

オープンキャンパスでプレゼン



おやじの会と焼きそばづくり
@大学祭(2018年当初出店)



社会人とワークショップ

2021年_10月~11月_4回

SG由
チャンネル登録者数 11人

ホーム 動画 再生リスト チャンネル フリートーク 概要

アップロード動画 ▶ すべて再生

動画タイトル	再生数	投稿日時
【福岡 居酒屋】まるで佐賀の宝酒!レトロな佐賀バー	16 回視聴	6 日前
【福岡 飲食店】新食感ふわふわ絶品卵かけご飯	46 回視聴	2 週間前
【福岡 カフェ】歴史ある町で優雅なひととき。太宰府。	99 回視聴	2 週間前
【福岡 カフェ】まるで病院? 往時の世界観溢れるカフェ	128 回視聴	2 週間前

以 上



インド・ムンバイ駅にて

—— プロフィール ——

出 身：1981年福岡県生まれ

専 門：財政学、公共経済学、都市経済学、政治経済学

担当科目：財政学

元 職：財務省財務総合政策研究所研究官

現 職：西南学院大学経済学部教授、鉄道研究部顧問

連 絡 先：研究室 431 号室、kondoh@seinan-gu.ac.jp

趣 味：旅と鉄道、ドライブ等

ゼミの運営方針：

一言で言うと、「よく学び、よく遊べ」です。自分たちで興味を持った課題に対して、他のメンバーとともに取り組んで、大学生でしかできない勉強をして欲しいと考えています。同時に勉強だけでなく、ゼミ生間の絆を深めて頂きたいと考えています。できれば、大学の間だけで終わってしまうような人間関係ではなくて、卒業後もお互い会いたくなるようなゼミができるのが理想です。また、外部との交流（合同ゼミ等）も比較的盛んに行っています。学部や西南の枠に囚われず、自分の力を高めてほしいと考えているからです。できるだけ希望を聞きながら、学生の皆さんの自主性に任せてゼミの運営をやってもらいたいと考えています。コロナ下で一部活動が制限される可能性はありますが、勉強と各種活動ともに充実した2年間を送って、自信をもってゼミを卒業してほしいと思います。

2022年度テーマ：「アベノミクス・コロナ後の日本財政・経済」

2020 年は中国から拡散した新型肺炎(コロナ)の影響で世の中が一変しました。日本においては、東京オリンピックは延期となり、2020 年 8 月には、これまでアベノミクスを推進してきた安倍首相が退陣を表明しました。2020 年代は、コロナがなくても、日本は少子高齢化、巨大な政府債務、低成長といった様々な問題を抱えており、厳しい時代になることが予想されていたのですが、コロナは日本の将来にどのような影響を与えるのでしょうか。

コロナ問題が深刻化した 2020 年 4 月に、国民の高まる声を受けて、政府は国民 1 人当たり 10 万円の定額給付金を配ることを決めました。また、7 月にはコロナ後の旅行喚起を意図した「Go to キャンペーン」が始まりました。コロナを口実に消費税減税を強く訴える声もあります。しかし、どんな政策をするにしてもコストがかかります。昨年のコロナ対策で追加された予算規模は消費税率換算で約 30%相当にもなります。さしあたり、政府にはお金がないので借金することになりますが、これは将来へのツケ（＝若い世代の負担）になります。果たして 10 万円に根拠はあるのでしょうか？確かに「いまはコロナだから仕方ない」という面もありますが、それで思考停止に陥ってはいないのでしょうか？

そこで、皆さんには経済学を学んでいるという強みを生かして、これまでの日本経済・財政の現

状と課題についてちゃんとした文献を読んで、経済学的に分析し、巷の怪しい議論に惑わされないようになってほしいというのがこの演習の狙いです。

演習の進め方（過年度の実績と 2022 年度以降の予定）

近藤ゼミ 2 年間の大まかなイメージ

- ・ 3 年前期：日本経済・財政に関するテキストを輪読
- ・ 3 年後期：パートゼミと卒業論文・卒業研究の準備
- ・ 4 年前期：実証分析入門（解説とExcelを使った実習）
- ・ 4 年後期：卒業論文・卒業研究の報告と提出

近藤ゼミでは、2 年間履修・合格することでゼミ卒業とみなします。4 年ゼミ「演習 II」は選択必修なので、履修しなくても卒業できることになっていますが、卒業論文（もしくは要求水準が低いものを卒業研究とよびますが、これを含む。）作成で身につく能力は大卒の社会人として必要不可欠なものであり、皆さんの力になると考えているからです。

3 年前期のテキスト輪読は、これまではグループ形式でレジュメを作成し、報告してもらい、その結果を踏まえて質疑応答をしています。パワーポイントでの報告が基本で、資料を作成するスキルや分かりやすく説明する技術、また準備や質疑を通じて、社会人にとって不可欠なコミュニケーション力が身につきます。

3 年後期のパートゼミとは、パート単位で各自が決めた沿ったテーマについて、調査・研究してもらい、研究成果を外部で報告してもらっています。過年度のパートの研究テーマとしては、オリンピックの経済効果、観光と地域経済、財政状況の国際比較など。リサーチ能力を身につけられる他、卒業論文や卒業研究につなげられるというメリットがあります。外部との交流にも積極的に取り組んでおり、学内は加藤浩ゼミや平井秀明ゼミとの合同報告会のほか、九州大学浦川ゼミ（社会保障論）との合同ゼミが定例化しています。コロナが収束しなければ難しいですが、合同ゼミ終了後の懇親会はなかなか盛り上がっています。

4 年ゼミは、卒業論文（もしくは卒業研究）作成に向けた指導が基本となります。卒業論文は経済学部の規定に沿って、16000 字以上書く必要がありますが、卒業研究は分量についてそこまで問いません。教員の指導を受けながら、自分なりにテーマを設定して、経済学的に分析することが必要です。ステップを踏んで指導しますので、ハードルが高いという心配はしなくても大丈夫です。そのかわり、努力は必要です。卒業論文（研究）を書くことで、自分でテーマを設定する主体性と論理的な文章を書く力が身につきます。また、卒業論文（研究）として合格した論文は論文集として形になり、卒業式で授与される予定です。

教科書候補：

小林慶一郎・森川正之編（2020）『コロナ危機の経済学：提言と分析』日本経済新聞出版

評価方法：

出席、報告、参加姿勢（やる気）等に基づいて総合的に決めます。できる、できないよりも、演習や学習活動に対する積極性を評価します。なお、「財政学」履修のこと。

選考にあたって：

○ 2016 年度の選考から、本ゼミは「経済学科」の学生のみを対象とします。

ゼミ生に求めるもの：

ゼミ生に求めるのは、協調性、勉強への意欲、基本ルール（無断欠席、遅刻しない）順守の3つです。基本ルールを学生時代から守れない人は、社会人になっても苦勞すると思うからです。あと近年、4年のゼミをとらない人が多くなりました。2年間しっかりゼミをとって、卒論まで書くという強い志を持つ人を希望しております。

課外活動等について：

ゼミ生同士の結びつきを強めてほしいと思っているので、親睦会や旅行は積極的にできればよいと私個人は考えています。最近では、19期生が下関・角島へ（2017年度）、20期生は太宰府・柳川へ（2018年度）、21期生は南阿蘇へ（2019年度）それぞれ小旅行に出かけました。社会科見学としては、日銀福岡支店、福岡市防災センター、福岡県警察、福岡地方裁判所などの例があります。あと、できれば社会人の人たちの話を聞く機会も設けたいと考えています。2015年度からは、国の予算を作成する役所である財務省の官僚に来て頂き、日本財政のことはもとより、アベノミクス、地域経済、財務省の組織などにつても話を伺う機会を設けています。2021年度は財務省主計局の出川課長補佐に特別講義をして頂きました。コロナ収束がなかなか見えませんが、Zoom等を活用して何かやりたいと思います。

課外活動の例（コロナウィルス感染予防のため、行事が実施できない可能性があります）：



△南阿蘇にて



△西新（卒業式）にて

(今年は課外活動が行えていないので、参考資料として 2019 年度の情報を再掲します)

近藤ゼミ (学生版)

ゼミ内容

90分しっかり行います！

基本的に前期はグループで協力して本の要約を発表します。
後期は自分が興味のある分野をグループで調べます。

評価方法：テストはなく、授業の発表や出席が重視されます。

ゼミ履修中にはボーリング大会や BBQ、ドライブや忘年会といった企画も用意されているのでゼミ内で仲良くなれるチャンスもたくさんありますよ！！ 😊

またインゼミにも積極的に参加するゼミなので他ゼミと仲良くなれます！

2019 年度は九州大学の浦川ゼミ、西南学院大学の加藤ゼミと行いました。

こんな人におすすめ！！

- ・グループワークが好きな人
- ・財政学に興味がある人
- ・友達が多くほしい人
- ・プレゼンが上手になりたい人



ゼミ生の声

「授業と遊ぶときのメリハリがしっかりしている。」
「学問的興味を引き立てられるゼミだ。」
「先生が天才なので解説がとてわかりやすい。」



——プロフィール——

熊谷 成将（くまがい なりまさ）

医・食・住（くらし）に関心がある私は、単著『**ライフスタイルと健康感の経済分析**』を作っています。Q1（四分位の最上位）ランクの国際査読誌に掲載された4本の論文を中核とする書籍です。共働き世帯における妻への家事労働負担の偏りを注視した「住」の研究、Valuation of health losses of women with multiple roles using a wellbeing valuation approach: Evidence from Japan の和訳文も所収されています。この研究では、夫の家事労働頻度の増加が配偶者（有業の女性）の健康改善に寄与することを明らかにしました。

ニッポン柔道“アテネ越え”9個の金メダルは、著者作成中の私に「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力とは呼べない。」（王貞治）を想起させました。Q1の査読誌に初めて論文が採択されるまで「2倍努力」を自らに課していましたが、柔道・素根輝選手の座右の銘は「3倍努力」。2倍では…足りていません(^^;)。

『自壊するメディア』の「権力を監視するメディア再生のために」において五百旗頭幸男氏は、権力のふるまいに疑問を感じた個人が「それはおかしい」「こうあるべきではないか」と考えを述べることにに対して疑問を呈するのは、後ろ指をさされたりするのが怖いだけ、と言います。同感です。「それはおかしい」と指摘するのが常の、高名な研究者から数年前に「日本の経済学者のうち研究（国際競争）を続けているのは1割。熊谷先生、1割の側にいなくちゃ」と励まされました。1割の者であり続けられるよう、3倍努力！です。

【講義等】 西南学院大学3年目。3年配当科目「社会保障論」を教えています。経済英語Ⅰと基礎演習Ⅱで24生33名（重複を除く）に教えました。毎年、私は、ほとんどの2年生と接点なしです。2019年4月に2名の教授から「社会保障は大事な分野。人気が出ると私たちは思っています」と御言葉を頂きましたが、私の回答は「そのようにならないでしょう」でした。私大文系学生のゼミ選択の主な理由が、“楽単”の評判、もしくは2年次までの受講経験であり、西南・経済においても同様の傾向があると予想していたからです。

11月末までのゼミ決定者数が2年次10月までの受講者数に依存すると仮定した試算は、当ゼミ加入決定者数が11月に4名以下と予測しています（関連：**【ゼミの方針等】④**）。

【学ぶことの意味とゼミ生の支援】 「こども食堂」に関する活動などで高名な湯浅誠東京大学特任教授が、学ぶことについて、こう説明しています。「最初はだれしも自転車に乗れなかったように、やってみて初めてできるようになる。そんな風に自分の力が引き出されるのが、学ぶことの本当の意味です」（『学ぶということ』ちくまプリマー新書に所収）。

応募者は志望動機欄に、医・食・住のいずれかにおいて分析したいことを150字程度で記入して

ください。「医」に関心がある者に次の動画が有用です。厚生労働省社会保障審議会の医療保険部会の資料を用いて、何度も国民医療費が過大に推計された理由を橋本英樹教授が解説しています。東京大学公開講座「高齢社会における疾病・医療介護費の近未来予測」2019年11月23日。(https://www.youtube.com/watch?v=zbEh1v9U8vs)

私自身の3度の退職経験を踏まえて、仕事の進み具合が速いかといった職場の性質差や因循な者が多数かといった地域差もゼミ生に伝えています。数回の「演習Ⅰ」を「こども食堂」活動等の学外活動に振り替えるかについて、第一次募集の応募者と相談します。



【手段と目的】 学生が“学びを深める”という「目的」のために、本来、ゼミ選択という「手段」があります。しかし、過去2年間に学生と教員から得た情報によると、西南・経済では、“楽単”のゼミに加入することを「目的」としている者が少なくないようです。

この点について民間企業人の視点で考察しましょう。「目的と手段の転倒が招く衰退」と題したコラム*から引用します。「手段は目的を実現させるための方法であるが、手段が固定化し目的化されると、本来の目的は忘れられ、達成されない」。

これを大学に置き換えると、単位を取得し易いという評判のゼミへの加入を「目的」化した学生は、“学びを深める”という本来の「目的」を達成できないと考えることができます。時間と授業料の浪費でしょう。もったいない。ミシェル・バデリーの『[エッセンシャル版] 行動経済学』を読み、「単純な（賢明でない）意思決定」や「現状維持バイアス」を理解しましょう。*投資持ち株会社JPHの代表取締役・青松英男氏の寄稿 日本経済新聞 2021年7月8日夕刊

【ゼミの方針等】 ①専門科目と演習Ⅰ（『社会疫学』（上）を使用予定）の相乗効果を期待しているので、ゼミ生は「社会保障論を必履修」（演習Ⅰの単位認定要件）です。今年度前期末に「社会保障論」履修者の78%が試験を受験し、受験者の80%が単位を取得しました。第3次募集で当ゼミに加入したゼミ生がコツコツ頑張って「優」でした(^.^)。自身の目標に向かってゼミ生が努力を重ね、大学卒業後に希望する進路に進んで欲しいと願っています。

30代半ばになってもトップレベルの長距離ランナーである佐藤悠基選手は、「実業団で成長できない選手は、コーチから言われたメニューをこなしているだけにしか見えない。自分が具体的にどこまで行きたいのか。ダメな選手は明確な目標がないのでは」と言います。核心をついた言葉です。大学教員として2000年以降に私が出会った学生のうち、社会の評価が低かった者のほとんどは、“目標

なし”で、漫然と過ごしていました。



左：リサ・F・パークマン、イチロー・カワチ、M・マリア・グリモール編『社会疫学』＜上＞＜下＞ 大修館書店
(高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己 監訳) 日本が直面する課題解決のヒントがここに。健康格差, 子どもの貧困, ソーシャル・キャピタル, 行動経済学を応用した保健対策。中：二女作 右：講義ノート (筆者作)

② 19時～6時の間、原則、メール対応不可です。賑やかな家族(妻、2人の娘)と同居し、早寝早起きしています。E-mail address: kumanari@seinan-gakuin.jp

③これまで、私が提示したメニューをこなしただけの学生から、彼らの文章を添削した後に、「(説明が)メッチャ分かりやすかったです」「スゴ～イ、頭のいい人の文章だと思いました」と言われてきました。しかし、その声を聞いて私が嬉しかったことは一度もありません。分かりやすい表現は私にとって基本中の基本、“できて当たり前”だからです。

学術研究と器械体操の演技は共通点があると思います。学術研究では難度を高めることを追求しつつ、文章作法を守って分かり易い表現に努めることが不可欠です。器械体操の得点は、演技の難度などを評価するDスコア(演技価値点; Difficulty score)と演技の出来栄を評価するEスコア(実施点; Execution score)の合計点です。高難度の技を実施しても、体操競技の要件である美しさや雄大さが伴わない演技であれば、得点が低くなります。器械体操と同様に**Eスコアを重視**しているので、文意が通っていない学生のレポートは**要修正**です。「文献を適切に引用し、データ出所を正しく記載したレポートを提出する」というゼミの方針を守らない者は、その他の事情に関係なく次年度に演習Iを**再履修**します。

④第2次募集以降の応募者のうち就学状況が良くないと判断されたゼミ加入者は、1～3月(4年次加入者はシューカツ期間の4～6月)に課題に取り組み、かつ、「経済学の基礎習熟度テスト」に合格することが求められます。課題の分量はGPAによって異なります。当初、第3次募集の応募時に「自分が具体的にどこまで行きたいのか」を表したレポートを応募者に提出してもらう予定でしたが、今回から、課題チェックを通じて応募者の就学態度改善を教員が促すことができなくなりました。その代わりの課題とテストです。

【経済学の知見の実装】 待機児童の解消、研修医のマッチングや医療資源の配分といった問題を解決するために、マーケットデザイン（制度設計）が適用されています。従来の手法に依存すると解決が困難な課題に対して、“境地を開拓する専門家”は最適な手法を用いることを推奨しています。

しかし、藤井（2021）**によると、「ワクチン接種予約は混乱の恐れがある先着順にすべきでない」という結果を得た東京大学の小島武仁教授が「我々としては早くから発信していたつもりだが世間に広くは伝わらなかった」と反省を口にしたそうです。もし、小島教授のような“境地を開拓する専門家”による「ワクチン予約は抽選が最適」が早期に周知されていたら、自治体の予約システムの設計段階で先着順を避けられ、その結果として、接種予約のための電話が繋がらないことによる混乱を回避できたでしょう。 **藤井彰夫「経済学者のコロナとの闘い―社会実装へ英知結集を」日本経済新聞 2021 年 6 月 7 日朝刊

マーケットデザインが適用された制度の下で、3 年次以降の専門コースやゼミを学生が選択する仕組みは、従来から東京大学や横浜国立大学などにあります。かつて私が勤務した近大の経済学部では、ゲール・シャプリー方式が専門コース内ゼミ選択に活用されていました。残念ながら、西南・経済では、マーケットデザインの知見が全く活かされておらず、加えて、対面方式のゼミ紹介が学部行事として行われていません。こうしたことも影響して、多数の学生が毎年、「学び（たいこと）」と無関係に右往左往しており、「学び（たいこと）」と加入するゼミのミスマッチは他大学よりも大きいです。望ましい“学びを深める”ためのゼミ選択を実施できるよう、経済学の知見を活かすべきでしょう。



—— プロフィール ——

教員の専門分野：理論経済学、意思決定理論

◆演習区分：

経済学科の学生向けのゼミです。

◆演習テーマ：

これからの経済＝AI、ロボティクス、ベーシックインカム

◆演習テーマの解説：

2021年度から私のゼミでは、演習のテーマを行動経済学から、上にあるように、「新しい経済システムへの道筋」に変更しました。

昨年から、新型コロナウイルスの蔓延によって経済は世界的に厳しい状況に陥っています。世界中の大学生が経済的打撃を受けているだけでなく、留学も難しくなっているのです。欧米の著名な大学ですら学生確保が難しくなっているほどです。この状況が続くと、最先端で活躍できる人材の育成に遅れが出て、これからの経済発展の行方にも影響が出かねないと懸念されています。

ですから、新型コロナウイルスの経済への悪影響は、想像以上に長引くかもしれないのです。現状では新型コロナウイルスの影響で仕事が減っている、と誰もが思っていますが、その状態は思ったほどは回復しない恐れもあります。つい2年前までは、深刻な人手不足が問題だと言われていた日本なのに、です。

ですが、実はCovid-19が蔓延する前から、そう遠くない将来、日本でもヒトの仕事は減るだろう、といわれてきました。AIとロボット技術の急激な進歩によって、世界的にヒトの仕事が大きく減る時代がくると予測する専門家が多数いるのです。

ですが、技術革新によってヒトの労働が減っても、豊かで充実し、今イメージするような仕事ではなく別の生き甲斐に満ちた生活がもたらされるのであれば、それは素晴らしい経済発展ということになります。それこそが、技術革新の本質のほうです。

もちろん、ヒトの仕事が減ってもそのような発展を獲得するには、これまでとは違う新しい経済システムと、新しい価値観が必要になります。その鍵になるのが、ベーシックインカムというものを基礎にする経済システムの構築です。

ゼミでは、その新しい経済システムへの移行方法を考えることがテーマになります。

◆演習の進め方：

コロナの前までは、私のゼミでは、ゼミ生を報告、質問、進行・評価のグループに分けて、担当のローテーションが一巡するごとにメンバーの組み換えをするという方法をとってきました。グループ制なので、グループで打合せをする時間と報告と討論との時間を交互にとることになるのですが、特

に打ち合わせの時間はゼミ生同士のコミュニケーションを図るもので、この方式では重要な場でした。

ですが、ここ数年はメリットよりも弊害の方が目立つようになってきていましたし、今のコロナの状況では、万全な予防医療体制が完成しない限り、この方式はとれません。間隔をとって座った状態で打ち合わせをするには広い教室が必要ですし、ゼミとして意味のあるコミュニケーションにはならないからです。

現状では変異株の度重なる出現で集団免疫の獲得が難しいと言われていしますので、ゼミの進め方も異なる方法を模索しなくてはならない状態です。

ですので、現時点で結論はでていませんが、ゼミ生と一緒に新しい進め方を模索していくことにも、ゼミのテーマの1と言えるでしょう。

◆テキスト・参考文献等：

演習テーマに関連する参考文献を挙げておきます。今後の出版状況によっては、ゼミのテキストはこれら以外のから選択することもあります。

A. ローリー（上原裕美子訳）（2019）『みんなお金を配ったら—ベーシックインカムは世界でどう議論されているか？』みすず書房。

佐々木隆治・志賀信夫・今野晴貴・藤田孝典（2019）『ベーシックインカムを問い直す：その現実と可能性』法律文化社。

井上智洋（2018）『AI時代の新・ベーシックインカム論』光文社。

山本勲編著（2019）『人工知能と経済』勁草書房。

岩本晃一編著（2018）『AIと日本の雇用』日本経済新聞社。

日本経済新聞社編（2020）『ネオエコノミー—世界の知性が挑む経済の謎』日本経済新聞出版社。

橋本健二（2018）『アンダークラス—新たな下層階級の出現』筑摩書房。

◆評価について：

今年度のように、オンライン授業が主になってしまった場合は、オンデマンド方式での実施になりますので、その期間については課題の提出状況と内容で評価を決めていくことになります。

教室で対面式で行う場合は、もちろん遅刻せずに出席してゼミに参加することが最低要件になります。その上で、報告、質問、討論を総合して評価を決めます。基本的に試験はしませんが、ゼミⅠの夏休みにレポートを課すことはあります。

小 野 浩 ゼミ

—— プロフィール ——

専攻：近現代日本経済史

連絡先：h-ono@seinan-gu.ac.jp

(1) 概要

小野ゼミでは、主に近現代の日本経済の歴史を学びます。歴史的な視点から分析したり、考察したりすることを通じて、経済現象に対する理解を深めていきます。いまの私たちを取り巻く社会や経済、あるいは、「今」を生きている私たち自身も含めて、すべては歴史的な産物であり、長い歴史的なプロセスを経て形成されたものです。歴史とは過去の事実を解釈したストーリーです。どのようなストーリーを描くかは人それぞれです。歴史を暗記することは、ほぼ無意味です。自分の頭で史実を解釈し、その内容について自由にディスカッションします。

(2) 進め方

前期は入門的なテキストを使用し、輪読形式で日本経済史・経営史の基本を学習します。その過程で資料収集、レジュメ作成、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等の方法を実践的に身につけていきます。

後期はグループごとにテーマを設定し、共同研究を行う予定です。同時に、演習Ⅱに向けた準備として、各自の興味関心に従って卒業論文のテーマ探しをはじめます。

(3) テキスト

未定ですが、できるだけ新しい日本経済史のテキストを使用する予定です。私が執筆に参加している【『ハンドブック日本経済史』ミネルバ書房、2021年】を採用する可能性があります（まだ確定ではありません）

(4) 成績評価の方法

ゼミへの参加態度、報告や議論の内容、課題やレポートなどを総合的に評価します。ゼミの良し悪しは、ゼミ生一人ひとりの事前準備でほぼ決まります。したがって、予習と報告の準備を重視して評価します。定期試験は行いません。

(5) 受講生に対する要望

できれば歴史に興味がある学生を募集します（ない学生も可）。高校「日本史B」の知識は必須なので、もし不安がある場合は春休み中に勉強しておきましょう。「日本経済史」「日本経済論」の講義を合わせて履修することが望ましいです（強制ではありません）。

ゼミの運営は原則として、ゼミ生の自主性に委ねます。小野は細かいことに口出ししませんし、教壇に立って講義をするわけでもありませんし、「答え」（あくまで小野の解釈であり、100%正し

いと限らない)を簡単に与えるわけでもありません。ゼミの主役は皆さん一人ひとりであり、小野はサポート役に過ぎません。各ゼミ生が熱心に取り組み、切磋琢磨すれば、自然に良いゼミになるでしょう。各自が目的意識をもって、主体的に参加することが重要です。したがって、責任感をもって行動できることが前提です(遅刻・無断欠席は厳禁)。十分な予習と報告の準備が求められます。

(6) 選抜方法

2022年度の演習Ⅰに参加する学生は、小野ゼミの3期生になります。第一次募集で第一志望の応募者を優先的に採用します。ちなみに、過去2年間、第一次募集の応募者が非常に少なかったため、第一次募集の応募者はもれなく全員、無条件で採用しています。もし応募者が定員を超過した場合は、志望理由と学業成績にもとづいて選抜します。過去2年間、第二次募集で応募者が殺到し、半分ほど落としています。質問等は上記のメールアドレスまで。

以上



—— プロフィール ——

専 門：金融論

趣 味：初等整数論

演習テーマ：「デジタル通貨と Blockchain」

テーマ解説

金融市場の革新的発展にはいつも驚かされます。日本では 90 年代に（米国に 10 年遅れで）デリバティブ市場が急拡大します。複雑で高度に数理的な分析を必要とする金融商品が大量に創出されます。銀行・証券に働く者は、FP（フィナンシャル・プランナー）や外務員、証券アナリストの資格取得が求められるようになりました。これらの資格には高度な数学は必要ではありませんが、デリバティブの知識と簡単な計算は必須です。文系だから計算が苦手という人は金融には不向きかもしれません。

また 2008 年のリーマン・ショックで金融市場がパニックになっているとき、正体不明の Satoshi Nakamoto が Bitcoin: A Peer-to-Peer Electronic Cash System. という論文を発表します。これが画期的な Blockchain の概念を生み、世界中で Bitcoin や類似の暗号資産（仮想通貨）を大量に創出することとなります。

また急速な IT 技術の革新により、FinTech（Finance+Technology）のスタートアップ企業が乱立します。これまで銀行の行ってきた決済、送金、融資、投資と言った業務を、少人数の高度な情報技術をもつスタートアップ企業が奪い取るという事態が世界各国で起こっています。すべての金融取引はスマホででき、ATM も銀行店舗も不要になり、消えると予言する識者もいます。銀行・証券・保険も淘汰され、20 年後、日本に 3 つ金融機関しか残っていないと断言する学者もいます。本当でしょうか？

今の株取引はロボットによるアルゴリズム取引が中心です。それも高頻度取引 HFT High frequency trading が行われています。1 秒の 1000 分の 1 という短い時間でトレードです。こうしたロボット取引は日本では全取引量の半分以上をしめ、米国では 7 割を占めています。もはや人間の取引では太刀打ちできません。

さらに、人工知能（AI）の革新は凄まじいものがあります。Singularity（技術的特異点）の出現を予想する学者もいます、Singularity とは人工知能が人間の能力を遥かに超えることで、人間の生活が後戻りできないほどに変容してしまうとする未来予測のことです。

こうした激変する状況下で、進路を決めるのは至難です。将来定年が 70 歳になると予想され、大卒後 50 年近く働くこととなります。2, 3 回の転職は当たり前になるかもしれません。卒業後も自己啓発と学習を続け、適応能力開発に勤しんでください。

今、ビジネスの世界で最も重要な技術は、Blockchain と思われます。22 年度はデジタル通貨と Blockchain について学びます。

中国はデジタル人民元の実用化に向けて邁進しています。また世界各国で CBDC (Central Bank Digital Currency) 「中央銀行発行デジタル通貨」の発行が検討されています。銀行口座を不要とする決済です。また Bitcoin や Ethereum も乱高下しながらも存続しています。Facebook は仮想通貨 Diem を 28 億人のユーザーに配布するかもしれません。今、貨幣の概念が変わろうとしています。貨幣とは記号、16 進数、データです。お金持ちも札束を手にはなくなります。

ブロックチェーンについてはその設計、P2P、データのハッシュ化、非対称暗号鍵、分散コンセンサス、Proof of Work 等について学びます。これらの学習を通して、ネットワークシステム、データベースとの差異、電子署名、暗号について学びを深めたいと思います。

参考書

『ブロックチェーン』岡嶋裕史 (ブルーバックス) 講談社 (2019)

『暗号通貨の経済学』(21 世紀の貨幣論) 小島寛之 講談社選書 (2019)

『ブロックチェーン技術概論 理論と実践』山崎重一郎他 講談社 (2021)

評価方法：出席率とレポートで判断します。

受講希望者への注意

経済学科の学生のみ受講可能です。

暗号技術 RSA 暗号の理解には、整数論 (オイラー関数、フェルマーの小定理) の知識を必要とします。高校数学の整数論 + α を学びます。

受講者の選抜方法：

受講希望者が定員を超える時は、マクロ経済学、ミクロ経済学、経済数学、統計学、金融・ファイナンス実習等の履修単位が多い学生を優先的に受け入れます。



—— プロフィール ——

専門はマクロ経済学。趣味は、ギター、登山、クライミング、コンピュータ・プログラミング、マイコン（マイクロマウスというロボット競技に参加しています）。

テーマ

データサイエンス入門

データサイエンスとは

身の回りのあらゆる分野でデータ収集が行なわれている昨今、ビッグデータを用いたデータ分析が注目を集めています。本ゼミではデータサイエンスと呼ばれる新興の学問領域の中から、機械学習や AI に代表されるデータ分析手法を学びます。

データサイエンスの領域は人によって定義がまちまちですが、大きく以下の 3 つの分野に分けることができます。

1. データベース操作と分散処理技術
2. データ・ビジュアライゼーション（データ可視化）
3. 統計的機械学習、AI などの予測アルゴリズム

ここでは簡単に上記 3 分野を解説しましょう。

コンピュータで計算処理する場合、データとプログラムは実行時にハードディスクからメモリ上に読み込まれます。メモリは大きくても数十ギガバイトの大きさですがビッグデータはテラバイト級の大きさになります。こうした巨大データを使った計算では、データをメモリ上に一度に読み込めないのが特殊なプログラミング技法が要求されます。これらを学ぶのが 1 つ目のデータベース操作と分散処理技術です。この分野の技術は日進月歩の勢いですぐに技術標準が変わってしまうのですが、今は Scala というプログラミング言語と Spark という分散処理技術を用いるのが優勢です。Java 言語と Hadoop という技術もよく使われます。

2 番目のデータ・ビジュアライゼーションとは、膨大かつ複雑なデータを直感的に理解するために工夫を凝らしたグラフ作成技術です。見た目が美しくかつ複雑な情報を伝えるための工夫もさることながら、マウスの位置やクリックに応じて動的に表示情報を変化させるなど、インタラクティブ性も重視されます。この分野では JavaScript というプログラミング言語が主流です。JavaScript 用のデータ可視化ツールである D3.js のグラフギャラリーや、データ可視化コンサル会社 BrightPoint のプロジェクトギャラリーを見てみてください。

- D3.jsのグラフギャラリー

<https://github.com/d3/d3/wiki/Gallery>

- BrightPointのプロジェクトギャラリー

<http://www.brightpointinc.com/project-list/>

3つ目の分野が演習 I で学ぶ予測のためのデータ分析手法です。計量経済学で使う回帰分析やベイズ推定もデータサイエンスで用いられますが、データサイエンスで扱う予測アルゴリズム（コンピュータの計算手順）には、単純なものから統計学に基づくものまで多岐にわたります。皆さんも耳にしたことがあるディープラーニングやニューラルネットワークなどの人工知能（AI）も講義で扱います。この講義を通じて、人工知能としてもてはやされているニューラルネットワークも、その根幹は経済学で用いる回帰分析と何ら変わりがないことを発見するでしょう。もちろん、ニューラルネットワークにはこれまでの予測技術にはない巧妙な工夫が凝らされていて、回帰モデルを大量のデータに自動的に適合させてゆくアルゴリズムが追加されています。こうした手法が機械学習と呼ばれる所以です。本講義では、AI 以外にも有効な様々な機械学習アルゴリズムを学びます。詳細は後ほど講義内容で説明します。

予測分析の分野で使用されるプログラミング言語で最もポピュラーなのは Python と R です。実務界では Python が優勢ですが、高度な統計分析を伴う分析の場合、R にも根強い人気があります。高速な計算が要求されるシビアなプロジェクトでは Scala や C++ も用いられます。

以上駆け足でデータサイエンスを紹介しましたが、これ以外にも高速な計算処理を実現するためのハードウェアの研究や、GPU というグラフィックボードに搭載されている行列計算が得意な計算プロセッサを活用した計算手法（C++ が使われます）、IoT と呼ばれるハードウェア機器のコントロール方法や IoT からのデータ取得（主に C 言語が使われます）など、実に様々な技術分野が含まれます。データサイエンスは非常に奥の深い分野ですが、一人で全ての技術をマスターしている必要はなく、実務の世界でも分業体制が敷かれていることがほとんどです。

講義内容

データサイエンスのどの分野を学ぶにしてもプログラミングは必須となります。また、機械学習アルゴリズムを理解するためには数学と統計学の知識が必要になります（中には数学や統計学を必要としないアルゴリズムもあります）。このゼミに応募する段階ではいずれの知識も要求しませんが、数学と統計学については別の講義で並行して学習するか、自習して習得してもらいます。プログラミングについてはゼミで指導します。数学と統計学については「受講上の注意」を参照してください。

ゼミではまず最初に R 言語のプログラミングを学習します。R は計量経済学の授業でも使っているようなので、この講義で学ぶ内容は計量経済学でも役立つでしょう。

データ分析を行うにはデータの取得とデータ整形（データクリーニング）を行うプログラムを自

分で書ける必要があります。データが大きいと、Excel 上のコピー操作でデータの表形式を変更することはほぼ不可能になります。こうしたデータ整形をプログラミングで自動化する方法を最初に学びます。

データ取得のプログラミング技法については、1 年間かけて各自で取り組むデータ分析論文のプロジェクトに即して、Web ページのデータスクレイピング方法や、SQL データベース操作法、REST や GraphQL といったデータ API を使ったデータ取得のためのプログラミング技法を解説します。

データ整形のプログラミングを学習した後は、いよいよメインテーマである機械学習アルゴリズムを学びます。本講義で扱うアルゴリズムは以下の通りです。

モデル	学習タスク
教師あり学習アルゴリズム	
最近傍法	分類
単純ベイズ	分類
決定木	分類
分類ルール学習器	分類
線形回帰	数値予測
回帰木	数値予測
モデル木	数値予測
ニューラルネットワーク	分類と数値予測
サポートベクトルマシン	分類と数値予測
教師なし学習アルゴリズム	
相関ルール	パターン検出
k平均	クラスタリング
メタ学習アルゴリズム	
バギング	分類と数値予測
ブースティング	分類と数値予測
ランダムフォレスト	分類と数値予測

これら全てを学習すると演習 II の前半までかかります。これらの学習を終えた後は、統計モデルを使って確率的予測を行うベイズ推定か、最初に紹介した別分野（分散処理技術やデータ可視化）の中から学習したいテーマを受講生に選択してもらいます。2019 年の演習 II ではベイズ推定を学び、2020 年の演習 II からは JavaScript を用いたデータ可視化を学んでいます。

講義の進め方

まず最初は、R プログラミングを解説した自習用のレジメに沿って授業を進めます。授業では毎にレジメの問題演習の解答解説を行ってもらいます。春休み前に一度集合して班分けを行うので、春休み中に班で発表 1 回分の準備をしておいてください。

夏休みのちょっと前くらいには R プログラミングの学習を終える予定です。その後は機械学習

のテキストに入ります。テキストの解説は私が行います。章毎の解説が終わったら、班毎にテキストとは異なるデータを用いて分析レポートを作成してもらい、結果を発表してもらいます。

受講上の注意

データ分析では線形代数（行列）と統計学の知識が必須となります。線形代数は私が担当している経済数学Ⅱで基礎から応用まで教えているので、ゼミ受講生は必ず履修してください。

統計学は本学提供の統計学関連科目と計量経済学を必ず履修してください。授業でも適宜統計学の復習を行います。

経済学では原因と結果のメカニズムの解明に重きをおくため、データ分析では予測よりも因果関係の解明に重きをおきます。Amazonなどの巨大IT企業では多くの計量経済学者が国内外で雇用されていますが、こうした企業では予測だけでなく、なぜそのような予測が導かれるのかといった理由も要求されます。理由を説明するには事象の因果関係を明らかにする必要があります。巷で流行のデータサイエンスではないがしるにされつつある因果分析は計量経済学の得意とするところなので、是非並行してそちらの分析手法も習得してください。

評価方法

平常点、1年間かけて作成するデータ分析レポート、定期試験の総合評価です。基礎事項の知識が定着しているようであれば定期試験を行わないこともあります。

このゼミでは例年、遅刻・欠席は合わせて年間2回までというルールで行っています。

選考方法

全員面談し、ゼミ生用のホームページの登録手続きを期限内に完了した学生の中から選考します。面談の日時は、選考期間中に演習申込ページでお知らせします。期間中は掲示に注意してください。ちなみに、このゼミは経済学科の学生を対象としたゼミです。

その他

例年、キャンプ、登山、シーカヤック、ケイビング（洞窟探検）などのアウトドア活動を実施しています。アウトドア活動、イベントが好きな人は大歓迎です。昨年はコロナウィルスの影響でクライミングジムでのボルダリングしか実施できませんでしたが、感染が落ち着いたら山に行きます。

私事ですが、私はジャズ・ビッグバンドでギターを担当しています。ジャンルを問わず楽器演奏や音楽が趣味の人、ジャズが好きな人も大歓迎です。

毎年、前期の間は、ゼミの後一緒に昼食をとっています。これもコロナウィルスの影響で実施できない期間もありましたが、一応、前期の木曜3限は空けておいて下さい。

主な就職先

三井住友銀行，みずほ銀行，新生銀行，パークレイズ投資銀行，西日本シティ銀行，十八銀行，日興コーディアル証券，大和証券，みずほインベスターズ証券，岡三証券，日本生命，AIU 保険会社，東京海上日動火災保険，ソニーファイナンスインターナショナル，三井物産フューチャーズ，東京三菱インフォメーションテクノロジー，全日空システム企画，いすゞ自動車，日立キャピタル，芙蓉総合リース，新出光，公認会計士（2 名！），福岡県庁，福岡市役所，春日市役所。

最近はプログラマとして IT 関連企業に就職したり，ベンチャー企業への就職も増えています。また，大学院に進学したり，税理士や公認会計士を目指して受験勉強中の先輩もいます。







—— プロフィール ——

氏 名：瀧井 貞行

生 年 月 日：1971年12月

担 当 科 目：計量経済学Ⅰ，経済英語Ⅰ等

研究テーマ：インドネシア製造業のミクロ・データを用いた
統計分析（直接投資や貿易自由化の影響）

趣 味：糠漬け，妻とのジョギング（散歩）

注意） 後期集中で開講します。経済学科の学生のみを対象とした演習です。

【演習テーマ】

統計データ等を用いた経済現象の解明と分析

【演習テーマの解説】

- 「自分なりの視点や方法によって経済現象を捉え，自分の意見を持って，それを人に説明し説得できること」が必要とされる場面が将来多々あると思われます。
- 人を説得させるためには「証拠」が必要となります。
- 経済問題において，その「証拠」は経済理論，（歴史的な）文献・資料，実地調査，統計データ等の中から見つけ出すことができるでしょう。
- 本演習では，統計データの中から人を説得させることのできる「証拠」を見つけ出す方法について学ぶことを目的とします。
- 演習の中でどんな経済問題をテーマとして取り扱うかは，個人個人によって違って構いません。統計データの分析をすることが本演習の共通点となります。そのため，上記の演習テーマは比較的漠然としたものとして設定しています。
- ただし，個人個人のテーマがバラバラだと演習が進めづらくなるので，直接投資や貿易の自由化に関連する国際経済・経済発展問題を主に取り扱いたいと思います。
- 必ずしも，上記のテーマでなくても統計分析が必要なテーマであれば構いません。

【演習の内容と進め方】

- 基本的には，受講生が関心を持つ研究テーマに合わせて，受講生と相談しながら演習の進め方を決めたいと思います。
- 演習の内容は大きく分けて2つに分けることができます。1つは各受講生の研究テーマに関する報告，もう1つは統計データ分析の演習となります。

- 研究テーマに関する報告では、データ分析の背後にある経済理論や、ある国を対象に分析を行うのであればその国の経済の概要や歴史などについて報告します。
- 特に、報告書・論文を作成することを念頭に置き、なぜそのテーマを扱うのか、なぜそのテーマが調べるに値することなのか、意見をまとめるためには何を調べなければいけないのかなどを検討します。
- 統計データ分析では、データの収集・整理の方法、表やグラフの作成方法、統計学あるいは計量経済学的分析手法について学びます。

【テキスト・参考書】

- 特に、予め決められたテキストはありません。各自がテキストを選択する方法を取りたいと思います。ただし、統計分析・計量分析については受講生の関連教科の修得状況を考慮しながらテキストを決めたいと思います。

【学生への要望と受講生の選考方法・基準】

- 研究テーマの選定は難しい作業です。自分の関心のあるテーマが分析可能であり、卒業論文提出までにまとめ上げることのできるテーマであるかどうか調べたうえでテーマの選定を行ってください。具体的な研究テーマがおおよそ決まっている、あるいはすぐに決めることができるそうであり、それが実行可能であるかどうかを1つの基準とします。
- 志望理由書と必要に応じた面談を参考に選考を行います。「志望理由」の半分には、関心のある研究テーマを書いてください。他の授業など書いたレポートと同一のテーマは基本的に受け付けません。
- 面談を行う学生に対しては、電子メールで連絡をするので、志望理由書の最後に @seinan-gu.ac.jp からのメールを受け取ることのできるメールアドレスを明記してください。
- 「一緒にいて気持ちのいい人」たちと生活していると、自分自身も成長できます。
- そんな素質を持った学生の集まりにできればと思います。



—— プロフィール ——

氏 名：丹波 靖博（たんば やすひろ）

担当科目：金融・ファイナンス実習、証券投資論

専 門：ファイナンス、金融工学、金融

趣 味：登山、旅行、アウトドア全般

メールアドレス：y-tanba@seinan-gakuin.jp

職 歴：日本航空、金融コンサル会社、大学教員

【演習テーマと目的】

◇ 楽しくやろう。将来必要な知識、技術、コミュニケーション能力などを身につけるように取り組もう。

社会で必要な「専門知識」や「自分で考え、まとめ、議論し、報告する力」を身につける事を目指します。就活サポートにも力を入れます。以下を中心に、皆さんの希望を反映し具体的実施内容を決めます。

1. 専門知識（金融・ファイナンス・金融工学）

将来、金融機関などで働く際に役立つ内容を取り扱い、テキストや資料の輪読を行います。

2. 業界・企業研究

仕事（就活と就職後）に役立つ知識を調べ、グループディスカッションや発表を行います。

【演習内容】

ファイナンスとはお金をどのように配分するかを考える学問で、我々の生活にも深く関わっています。例えば、「家って買った方がいいの？」「投資ってした方がいいのかなぁ」「老後ってなんとなく不安なんだけど、どうすればいいの？」など、お金に関する人生計画に大きく関わっています。これらを金融機関から見ると「住宅ローンをいかに販売するか」「投資運用サービスの提供」「老後資金のサポート」などの知識が必要です。

私はこれまで民間企業、大学教員、金融コンサルティング会社の3つの仕事を経験してきました。金融コンサルティングとは主に銀行、証券、保険などの金融機関などに対し、データ分析によるアドバイスをを行う仕事です。世界的に金融機関に必要な知識は高度化し、これらの問題に対応可能な人材育成が必要となっています。金融業界においてはマイナス金利やデジタル化の遅れなどによる収益性の低下により、FINTECH（ファイナンステクノロジー）、AI（人工知能）、ブロックチェーンやスマートコントラクトなどの新しい発想や技術の活用が必要ですが、日本においてはこれらに対応できる人材が限られています。高度な問題解決を担うために必要な知識や技術を、大学時代から習得していくことを目指し、金融・ファイナンス、業界・会社研究などに関するテキストなどの

輪読により知識や技術を習得します。また、グループディスカッションや発表を通したコミュニケーション能力の向上や就活指導にも重点をおきます。

【学年ごとの進め方】

演習Ⅰではテキストの輪読を想定します。テキストは受講者の希望により決めますが、下記過去2年間の内容の他に、データサイエンス、資産運用・投資、仮想通貨なども候補です。データサイエンス、資産運用・投資等の場合は、実習も取り入れる予定です。演習Ⅱでは各自が卒論テーマを決め、作成を行います。演習Ⅱの履修は任意で、本ゼミで演習Ⅱを履修する場合は卒論を必須とします。

- ・ 3年：共通課題（輪読、報告、ディスカッション、発表、就活指導など）※輪読の予習は必須
- ・ 4年前期：個別課題の設定と調査（卒論指導、ディスカッション、就活サポートなど）
- ・ 4年後期：研究指導（卒論作成、報告、ディスカッションなど）

※ゼミ生の殆どが3年生からインターンなどに積極的に参加し、都度情報交換のための報告を実施します。本ゼミでは金融関係への就職割合が多いですが、金融関連への就職希望でなくても全く構いません。

※コロナのフェーズにより、授業はTV会議（Google Meet）と対面授業の混合で実施しました。

【評価方法】

報告状況・課題提出・議論への参加状況などを総合的に見て評価します。定期試験は実施しません。

【テキスト】

金融ファイナンスの基本から最新分野まで、内容について受講生の興味・要望を反映し決めます。

＜過去の演習Ⅰの使用テキスト＞

- ・ 「デジタル革命時代における銀行経営」ボストン コンサルティング グループ 金融グループ
現在の銀行の課題と解決方法について解説した本です。輪読・解説・グループディスカッション・発表により、将来銀行のあり方について独自の意見を持てることを目指しました。
- ・ 「証券アナリスト1次対策総まとめテキスト証券分析 2020 年試験対策」TAC 証券アナリスト研究会

金融機関の投資部門などで必要な証券アナリストの資格本で内容は高度です。中上級者の個人が投資する際にも知っておいたほうが良い内容が多く含まれます。私の「証券投資論」の講義と近い内容です。

【選考方法】

- ・ 選抜の必要がある場合は、志望理由書・成績などを総合的に判断して選抜します。追加の情報が必要な場合は、メールなどを通じて連絡します。今年はコロナのため面接は行いません。

- 本演習は経済学科の学生のみ履修可能です。定員に達しない場合、全ての学生を受け入れます。

【その他】

- 質問は上記のメールアドレス宛にご連絡ください。直接話をしたい方は、TV 会議か私の研究室（学術研究所 102 号室）でお話することも可能ですのでご連絡ください。
- 「証券投資論」を受講することを推奨します。実務で必要なファイナンスの投資論を一通り行いますので、金融機関に就職希望の方、投資に興味のある方に役立ちます。内容は高度です。「金融・ファイナンス」はもっと一般的な内容で易しく、金融機関に就職希望でない方にも役立つ講義です。
- 遅刻・無断欠席厳禁です。やむを得ない場合は、必ず理由とともに事前に連絡してください。
- 課外授業、ゼミコンパ、ゼミ旅行等は、ゼミ生の意向を尊重しコロナの状況も考慮して実施します。私の趣味がアウトドアや旅行なので、これらの実施也大歓迎です。



—— プロフィール ——

経済学部経済学科経済学専攻

夢：含蓄に富んだ美しい実証研究論文を書くこと。

好きな色：燃え上がるような情熱を連想させる赤

講義科目および専門研究分野：経済地理、経済発展論

（ドイツのミュンヘン市にある老舗カフェの「アルト・シュヴァービング」にて、日曜日の朝、シャンパン付の朝食をとる筆者）。

（目的）

経済学という言葉から、皆さんはどんなことを連想しますか？基礎科目を履修しているとすれば、市場における企業行動、消費者行動、これら経済主体の行動が競争的市場や独占的市場においてどのような結果をもたらすかを分析する学問。あるいは、経済主体を集計レベルで扱い、利子率、国民所得、インフレーション、失業率などが相互にどのように関係しているかを考察する学問……などなど。皆さんは、どこかの教科書に記されている事柄を思い浮かべることでしょう（何も連想できない人は、少し問題です）。たしかに経済学はこれらの基礎知識の上に構築された厳密な科学であると言えます。なんだか、難しそうですね。でも心配は要りません、重要なのはこれらの道具を利用して、さまざまな現象を分析することです。

現代の経済学で扱うトピックは多岐にわたっています。例えば、青少年の犯罪、蚤の市における窃盗のような社会的問題の分析。現在の皆さんに関係深いところでは、フリーターやニートと関係する若年就職市場を扱うこともあります。さらに皆さんが「近い」将来かわる「カモ」しれない、出産・育児と職業選択、家庭内における予算配分の問題を探求することも対象となります。ちなみに、これらはいずれも経済学の道具を縦横無尽に用いたアプローチをとっています。

ごくごく身近な社会現象も視点を変えて観察すると思わぬ発見があるものです。近年では行動経済学という心理的側面を経済学に取り入れた学問が発展しています。行動経済学に関心をよせる企業経営者で、山村ゼミ生の活動に興味を持っている方もいます。2019年から始まった新型コロナ蔓延が世界的な問題となっています。今年は行動経済学的な視点から移民、自由貿易、温暖化、不平等・税制などをテーマに、「未来への希望」を探ることにします。

（メッセージ）

入学以来サークル活動、アルバイトなどを通して、皆さんは様々な経験をしたことでしょう。私自身、学生時代の経験を振り返ってみると数多くの思い出があります。その中でも、ゼミナールにおける体験はとても印象深いものでした。

ゼミナールを通してしか体験できないことも数多くあると思います。伝統的に山村ゼミでは、ゼミ生による自主的な発案を大いに取り入れています。そしてそれを実現していくのはゼミ生自身なのです。近い将来訪れる就職活動においても、ゼミナール活動は、自己アピールの格好の材料となるでしょう。

(テーマ)

ノーベル経済学賞を受賞した研究者による最新テキストを読み解きつつ、新型コロナ後の世界を構想していく。

(進め方)

前期では指定したテキストを輪読しつつ、レジュメ作成、プレゼンテーション、そして議論の方法も学習します。後期は各自の興味に合わせて研究発表を行う。その際には資料収集の方法などを身につけます。今のところ下記のテキストを予定している。

(テキスト等)

バナジー・アビジット、デュフロ・エスター（村井 章子 訳）（2020）『絶望を希望に変える経済学 社会の重大問題をどう解決するか』日本経済新聞出版，2640 円

(評価)

平常点により総合的に判断する（特に出席とゼミナールでの発言を重視する）。

(注意事項)

コンパ等で、**全面禁煙**

(演習受講者の選抜基準)

正直言って、「経済地理」の試験結果は大して関係ありません！

ゼミ生の就職先

三菱電機、TOTO、公務員（福岡市）、国税局、福岡県警、九電工、三井住友銀行、日本銀行、西日本銀行、福岡銀行、肥後銀行、三和シャッター工業、福岡トヨタ自動車、みずほインベスターズ証券、損害保険ジャパン、九州リースサービス、作曲家、アイドル（既に引退）etc.



企業経営者との交流記念写真

国際経済学科の学生を対象とする演習

【注意】

「国際経済学科の学生を対象とする演習」には、国際経済学科の学生だけが応募できます。経済学科の学生は応募できません。

誤って他学科の学生を対象とする演習に応募した場合には、当該の選考からはずれ、自動的に次の選考に回ることになるので注意してください。



パーサックジョラシットダム駅にて
(タイ・ロブプリ県)

—— プロフィール ——

東 茂樹（ひがし しげき）

学 科：国際経済学科

担当科目：東南アジア経済論

テ マ：アジア経済と日本

自己紹介

大阪生まれで、高校卒業までは大阪で暮らし、大学から関東地方に移って、10年あまりアジア経済研究所にいましたが、2007年4月に西南学院大学経済学部へ赴任しました。

2013年9月から1年間、タイのタマサート大学経済学部で在外研究を行いました。久しぶりにタイに長期間滞在しましたが、首都バンコクは急速に発展しており、生活の便利さは東京や大阪で暮らしているのとはさほど変わりません。他方で都市と地方の所得格差は拡大しており、政治対立が激化して2014年5月にまたクーデターが発生しました。経済成長が中所得国のレベルまで達すると、人材育成や技術開発などの面で構造転換を遂げない限り、さらなる成長は望めないと言われるますが、タイはまさにこの産みの苦しみの状態であることが、現地で実感できました。また後発国であるタイ周辺のベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーにも足を運び、急速に開発が進む一方で、抱えている課題についても見聞きしてきました。

演習のテーマと進め方

私の演習では、文献の輪読により、アジア経済の現状や問題点について理解を深めるとともに、アジアを対象に経済学の視点から分析する思考能力を養います。今年度の3年は、前期はアジアにおける域内貿易の進展、直接投資の拡大、生産の高度化、サプライチェーンの構築、経済格差などのトピックについて、どのように説明できるかについて学習しました。後期は日本やアジアの産業と企業に焦点を当てて、日本の産業と企業の強みと弱みを分析し、アジアの産業や企業に競争力で勝るには何が重要かについて考えています。

ゼミで取り上げている文献は、次の2冊です。(1) 後藤健太『アジア経済とは何か』中公新書、2019年、(2) 塩路洋・田中彰編『東アジアの優位産業』中央経済社、2020年。これらの文献では、日本企業のアジア展開のほかに、日本以外のアジア企業がいかに競争力を高めているかについて、現場に出向いて調査することにより事業の成功事例や失敗事例を分析しています。具体的な事例は、われわれの身近にあるものが多数あり、ゼミでは毎回さまざまなテーマを議論しています。アメリカ離脱後のTPP（環太平洋経済連携協定）や米中貿易摩擦のゆくえ、イノベーションと日本の自動車・電機産業の再編、アジアにおけるキャッシュレス経済やシェアリングビジネスの進展と問題

点など、時事ニュースの理解も深まります。

ゼミの希望者には、タイのバンコクで海外研修、海外インターンシップなどを実施したいと考えています。長期休暇期間中に、現地企業を訪問して経済のしくみや事業内容を理解するとともに、仕事体験を通してキャリアアップすることは、皆さんの今後の進路を決める上ですばらしい第一歩になると思います。あわせて海外生活により異文化体験をして、語学力の向上にも努めましょう。今年度は残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大により海外研修（福岡銀行グローバルソリューション部のご協力で、さまざまなプログラムを用意していましたが）はできませんでしたが、2019年度にはタイの日系企業でインターンシップ研修を行って、「いろいろな分野の方とお話ができ、ネットワークが広がって、福岡にいては決してできない貴重な体験ができた」と話してくれた学生がいます（「国際キャリア演習」受講生）。私も皆さんの可能性を引き上げるために、できる限りサポート体制の充実を図る計画です。

4年は卒業論文の執筆に取り組みます。卒業したゼミ生のテーマは、つぎのようなタイトルでした。「グラミン銀行の目指す貧困からの脱却」、「コンビニエンス・ストアにおけるフランチャイズ・システムの必要性・問題点」、「コミュニティ・ビジネスが高齢化社会に与える影響と地域活性化」、「BOP ビジネスによる「貧困」解決と日本企業」、「日本農業の可能性－6次産業化の取り組み－」、「シャープ凋落から考える日本企業敗北の原因」、「TPPを契機としたフェア・ユースの導入について」、「ナショナル・アイデンティティの統一～マレーシアとシンガポール～」、「外国人労働者が日本経済に与える影響」、「富士フイルムと米イーストマンコダックの経営戦略の比較」、「農業参入における地方建設企業の特異性及び地方活性化」、「日本アパレル業界におけるSPAの現状・課題」、「仕入形態からみる百貨店の店舗戦略」、「ライドシェアの規制と日本での発展可能性について」、「日系格安航空会社に見られる特有の点について」、「シャオミのスマートフォン市場におけるシェア減少要因について」、「カンボジア縫製産業の可能性」などで、どれも力作です。卒業論文集としてまとめて、卒業式に渡しています。西南の経済で学んだ自分の努力の成果が記録として残り、社会人になってからも、この努力が活かされると考えています。

ゼミ生が選んだ卒論のテーマからもわかるように、自由貿易協定（TPP、RCEP、日中韓 FTA など）とその影響（農業、医療、自動車産業など）、企業の事業展開（アジア企業の台頭、日本企業の再編など）、途上国の直面する課題（所得格差、貧困など）などに関心がある学生は、是非ゼミに参加してください。

選抜方法

志望理由に、演習に参加したい意欲や取り組みたいことについて具体的に記述してください。その内容を中心に総合的に判断して、選抜します。

※なおこの演習は、国際経済学科の学生を対象とする演習です。

評価方法

演習では、つぎの三つのルールを設けています。①無断欠席をしない、②演習において積極的に発言する、③理解したことやさらなる課題をレポートにまとめる。この三つのルールを遵守して努力した学生には、高い評価をしたいと思います。

ゼミ生の様子

ゼミに集まってくる学生ですが、サークルや大学祭などでリーダーシップを発揮している学生、海外に行ってボランティア活動に参加する学生など、大学時代を有意義に送っている学生が多いようです。私としてはゼミに取り組む積極性と問題関心を持とうと心がけている学生であれば、誰でも参加を歓迎します。授業評価アンケートの学生の感想は、「自分の気になる分野を徹底して深められるので知識が身につく」、「発表に対する質問から、経済の話につながっていったので分かりやすかった」などです。

これまでのゼミ生の進路は、金融、保険、商社、メーカー、サービス、公務員など平均的な経済学部学生の就職先と変わりません。

ゼミコンは前期、後期各1回行っています。幹事を決めて居酒屋で行い、会話がはずんで盛り上がり、交流を深める良い機会です。タイ料理など東南アジアのエスニック料理を食べたいなどの希望があればアレンジします。

ゼミ合宿は、相談して決めたいと思います。本で調べたテーマに関して、実際に現場を見に行ったり、当事者から話をお伺いすることも、理解を深める上で大変重要です。学生の皆さんから、積極的なアイデアの提案を期待しています。主役は学生の皆さんですから、皆さんが自主的に、主体性をもって取り組むことは、積極的に応援します。

質問があればメール(higashis@seinan-gu.ac.jp)などで連絡をください。気軽に相談してください。



(消費期限切れ)

—— プロフィール ——

氏 名 岩本 武和 (いわもと たけかず)

生年月日 1957 年 6 月 22 日 (広島県出身)

担当科目 国際金融論、マクロ経済学 I

趣 味 聞く音楽 (クラシック、ジャズ、中島みゆき)

読む文学 (太宰治、三島由紀夫、M. ウェーバー)

見る映画 (ヴィスコンティ、キューブリック、是枝裕和)

釣り (もっぱら投げ釣り、シロギス、メゴチ、カワハギ)

メールアドレス: t-iwamoto@seinan-gu.ac.jp

【演習テーマ】

- (1) 以下の【テキスト】をマスターすることで、国際経済学の 2 大分野である「国際貿易論」と「国際金融論」を、3 年生と 4 年生の 2 年間で、身につけることを、この演習の基本としたいと思います。
- (2) テキストはできるだけ前期のうちに終わらせ、後期の準備のためのテーマ設定、例えば「EU とユーロ危機」、「中国の一带一路戦略」、「リーマンショック後の非伝統的金融政策」…といったテーマで班分けをして、グループ学習やプレゼンテーションの訓練もしたいと思います。
- (3) そうしたグループ学習を個別学習に落とし込んだ上で、4 年生の卒論作成にもつなげたいと考えています。

【演習内容】

国際経済学は、「ミクロ経済学の応用として国際貿易論」、および「マクロ経済学の応用としての国際金融論 (国際マクロ経済学)」というように、比較的「体系性」のある学問分野ですが、それがゆえに、現実の国際経済を認識するためには、初学者には「理論と現実の乖離」に戸惑うことが多いかもしれません。

まず「国際貿易論」では、「比較優位の原理」、「ヘクシャー＝オリーンの定理」、「貿易政策の部分均衡・一般均衡分析」…。「国際金融論」では、「為替レートの短期理論と金利平価」、「為替レートの長期理論と購買力平価利平価」、「マンデル＝フレミング・モデル」、「最適通貨圏」…。

例えば、「経常収支の黒字が続く中国では外貨準備の増加が著しく、米国は中国に対し人民元の切り上げ圧力を強めている」といった社説や、「経常収支の赤字が続いたタイでは、外貨準備が底をつき、ついにバーツは固定相場制を維持できずに、大きく下落し、タイの通貨通貨は外貨準備を補填するため、IMF (国際通貨基金) からの融資を受けることで合意した」といった記事は、全く違う現実ですが、全く同じ理論で説明ができます。中国もタイも固定相場制を採用しているので、固定相場制での為替レートと外貨準備の関係を分析した古典的モデルに当てはめれば、両者は整合的に説明可能です。

【進め方】

演習Ⅰの前期では、国際経済学のうち国際貿易論、演習Ⅱの前期では、国際金融論の理論をマスターします。これらテキストリーディングを基礎として、各後期では、テーマごとに分かれたグループ学習をして、プレゼンテーションの訓練もしたいと思います。そうしたグループ学習を個別学習に落とし込んだ上で、4年生の卒論作成にもつなげたいと考えています。大切なことは、「レポート」ではなく「論文」を書くこと、後者には「分析」（理論的または実証的、歴史的または説得的）がないと「論文」とは言えません。この段階ではまだ、独創性（オリジナリティー）は要求しません。

【評価方法】

報告状況・宿題の提出状況・議論への参加状況などを総合的に見て評価します。

【注意点】

下記のテキストを使いますから、簡単な英語と、ほんのわずかな数学は出てきます。ただし、数学は一次関数の加減乗除だけで、微積分は登場しません。また下記のように、この程度の英語を読んで、書く練習もすれば、留学も視野に入りますよ。

【テキスト】

Krugman, P., M. Obstfeld, and M. Melitz, *International Economics: Theory and Policy*, Global Edition, 2018. (『クルーグマン国際経済学 理論と政策』上：貿易編、下：金融編、丸善出版、2017年.)
演習は英語版でやることを基本（この程度の易しい英語を読めたり書けたりするだけで、留学でも十分通用しますよ）としますが、予習・復習の際は、日本語版を図書館で借り出して下さい。

【選考方法】

- ・本演習は、国際経済学科の学生のみ履修可能です。
- ・定員に達しない場合、すべての学生を受け入れます。追加募集を行う可能性あり。

【その他】

特になし。



—— プロフィール ——

氏 名：亀井 慶太（かめい けいた）

生年月日：1985 年 4 月 11 日（秋田県出身）

担当科目：国際経済学、ミクロ経済学 I

専 門：不完全競争理論

趣 味：観る将

メールアドレス：k-kamei@seinan-gu.ac.jp

【演習テーマ】

国際経済学。座学とディスカッションを通じて国際経済を学ぶ。

【演習内容】

皆さんは最寄りのスーパーやコンビニで商品を購入するとき、「ははーん。これは外国産の商品か。よし、買うぞ！」などと意識することがあるでしょうか？おそらくそれほどはないと思います。ところが、「これは純粋に国産なのか？」と意識し始めると、毎日購入するような商品に対して多くの海外企業関わっていることがわかります。例えば、みなさんが数分おきに触っているスマートフォンですが、その部品に注目すると、その多くは外国産で構成されています。その他にも、私のように Reebok の靴を履き、アマゾンで購入したベトナム産のメーカー不明の服を着ていれば、外国が関わっている製品を購入（間接的には財を輸入）していることになります。このように我々にとって、貿易は（おそらく皆さんが思っている以上に）身近な現象なのです。

実際、世界全体の輸出額は 2000 年以降、急激に拡大し、世界の国内総生産の約 20% 程度に到達しています。データから見ても、現代経済において国際貿易は極めて大きな現象となっていることがわかります。これは同時に、国際貿易を介して世界経済が密接につながっていることが示唆されます。それゆえ、我々の経済活動（おにぎりの価格とかバイト代とか有効求人倍率とか）が世界経済から何かしらの影響を受けることが予想されます。では経済学において、国際貿易をどのように議論していけばよいのでしょうか？何を隠そう、それを解明するのが本演習の目的です。

現代経済を理解しようとしたときに、国際的な要因を考慮することは極めて重要です。しかし、このメカニズム全体を一挙に解明しようとするれば、その複雑さから即座に行き詰まることでしょう。そのため経済学者は、世界の経済構造をなるべく単純化して捉えるために単純な（数理）モデルを構築し、そこから議論を開始します。残念なことに、現時点で世界経済を完全に解明している（と思われる）モデルは存在しませんが、各々のモデルを理解・体得していくことを通じて、国際貿易における諸問題—多国籍企業・移民・環境問題・貿易と失業・貿易と所得格差など—に対して経済学的思考方法が身につくことでしょう。（それが本当に「正しい」か、は別として）。本演習は、上記の問題に関心のある学生を歓迎します。

【進め方】

演習Ⅰでは、国際経済学の基礎的知識を習得しながら、グループに分かれて特定のテーマに従って調査・研究・討論（vs）をしてもらいます。演習Ⅱでは、卒論を希望する学生は、自身の興味・関心に従って研究をしてもらいますが、基礎的知識が足りなければ追加課題を出します。卒論を希望しない学生は輪読を中心に行います。

新型コロナウイルスの感染者数の推移によっては、双方向型（Webex などを利用した完全な遠隔講義）もしくはハイブリッド型（遠隔・対面同時進行）で演習を行うことがあります。安定したネット回線の準備とパソコン端末を保有していることが望ましいです。

【評価方法】

報告状況・宿題の提出状況・議論への参加状況などを総合的に見て評価します。

【注意点】

本演習では理論・実証を通じて議論を展開しますが、国際経済に関する時事問題に関しても多少の興味関心を要求します。多少のグラフ・数式・英語と付き合う覚悟はしておいてください。

また、本演習では卒業論文の提出は任意となっていますが、卒業論文の単位を認める基準は極めて高いものとなっており、一年を通じて計画的に取り組んでももらいます。卒業論文執筆希望者はなるべく早く計画を立て、よい論文を作成できるように準備してください。

【テキスト】

（演習Ⅰ）前期・後期：ジョン・マクラレン（2020）「国際貿易 - グローバル化と政策の経済分析 -」，文真堂 3000 円 + 税

【選考方法】

- ・ 本演習は、国際経済学科の学生のみ履修可能です。
- ・ 定員に達しない場合、すべての学生を受け入れます。追加募集を行う可能性あり。
- ・ 選抜の必要がある場合は、成績・受講科目を総合的に判断して選抜します。場合に応じて志望理由書も参考にします。必要に応じて、応募者に周知の上、Webex による面談を行う可能性があります。

【その他】

- 質問があればお答えしますので、以下のメールアドレス宛に連絡をください。

k-kamei@seinan-gu.ac.jp

また、私が研究室（学術研究所，420号室）にいる場合は（忙しくない限り）いつでも対応します。

- 本演習に配属が決定した学生は、通知の一ヶ月以内に私宛（k-kamei@seinan-gu.ac.jp）にメールを送ってください。



—— プロフィール ——

担当科目：国際経済開発論

演習のテーマ：経済発展、所得分配、貧困問題、ジェンダー
問題、移住、送金

出身地：東京都

自己紹介にかえて：

私は開発経済学を専門としており、近年は、インドを対象として、経済成長が人口移動を通じてどのように所得分配に変化を与えるか、というテーマに基づく研究を行っています。

現在のインドのような国々では、今だかつて体験したことのない経済成長の中で、膨大な中間層が成長しながら、急速に都市化が進展しています。しかしその一方で、世界の3分の1を占めるともいわれる「絶対的」貧困層を一国内に抱えたままであることも事実です。急速な経済成長によって、多くの人々に新たな経済的機会と社会的機会が開かれたことで、多くの人々は豊かになってきました。メイドがいる家も一般的なので、日本人よりも豊かな



ニューデリー駅前

な生活をしている人々は大変多いといってもよいでしょう。一方で、「今までなかったチャンス」が、多くの社会的後進階層とみられる人たち（インドには、社会的な差別が多く存在していて、苛烈な差別を受ける社会集団があり、その中でも特に経済的に弱い集団は差別とさまざまな暴力を受ける対象となることが多いです。そのもっとも弱い集団とは、女性であることがほとんどです）にとっても、一定程度はもたらされることは確かでもあります。その恩恵は中間層以上が受ける恩恵ほど大きくはありません。

また、経済的な価値が増大するにつれて、文化や慣習や制度の変容が同時に起こります。つまり、西洋的、あるいは、グローバルに受容されている文化が、金銭的な価値という大きな裏付けを得ることで、通常は、伝統的な価値を駆逐すると考えられます。たとえば、現在のニューデリーやムンバイでは、（今までは社会的に許されなかった）アルコールやディスコを楽しむはじめた中間層の女性も珍しくなくなり、一般的に彼女らは高い学歴を持っているため、伝統的な価値観はすたれていくようにも思えます。しかし、同時に、一見時代遅れに思えるような文化や慣習の力が強まることもありえるのです。実際、中間層では逆に伝統的・宗教的な価値を見直す「保守化」が起きていて、中間層の女性の場合には、大学を出ることは職業と直結せず、むしろ良い結婚相手を見つけるための手段としてのみ機能しているケースがよくみられます。（いわゆる「釣書」のようなものです）経済学をすこしでも勉強していればわかることですが、結婚は愛によってするものではありません。今までの自分の社会・経済的バックグラウンドを守り、なおかつ今後の人生を安定させるために必要な社会制度が結婚です。もし自分の経済的バックグラウンドを守る必要がないと考えれば結婚は

必ずしも必要ではないし（先進国はこうなっています）、逆に安定させる必要があると考えれば絶対必要となってきます。経済成長期に自分の家柄や教育から大きな利益を得た女性たちの家庭は、その利益をより強固なものにする必要性を強く感じるため、結婚によってさらなる経済・社会基盤の安定化をはかるよう必死になります。したがって、インドのような社会では婚活は、社会・経済的基盤を「保守」するために最も重要な手段ですから、私たちが想像できないほどに苛烈です。お見合い相手は全国紙で募集されていますし、海外留学経験のある女性限定や博士以上女性限定婚活パーティなど、とても日本では想像できない高い条件で絞ってもすさまじい数の募集者で溢れますし、加えて、何よりも家柄が釣り合うことが必須条件ですので、婚活はきわめて厳しい「戦い」になっています。そして、婚活の勝者たちは結婚によってより社会的・経済的な価値を固定化していくこととなります。逆に、貧困層の家庭では、若年の女性、ひどいときは小学生くらいの幼児が、ほぼ人身売買のような形で花嫁として売られていくこともいまだに珍しくありません（10歳くらいで「変態のおっさん」に5万円程度で売られてしまうのを考えるとどれだけおぞましいことか想像がつくでしょうか）。

学歴と能力と財力のある階層が結婚して経済的基盤を盤石にすると、だいたい海外で教育を受けたり仕事をするのがステイタスとなります。こうして、海外に出た人々と国内に取り残された人々との格差がさらに広がっていきます。

さらに、経済発展途上にある国では、経済成長に伴って、教育にかけねばならない家計コストは増大していく一方なので少子化が進みますが、社会保障が未発達であることがほとんどです。そもそもそのような国においては、子供は老後保障の一環をなす存在であるため、親は自分の老後のために多くの子供を持つとします。しかし、教育の重要性が周知されてゆき、教育による経済的利益がより大きなものになると、子供の教育コストが上昇します。つまり、教育が普及すると、より多くのお金がかかるので、子供をたくさん持つことができません。一方で、経済成長により、伝統的価値観が解体され、近代化された社会においては（日本を考えればわかると思いますが）子供は必ずしも親の面倒をみるわけではありませんから、子供が育った後には、子供に老後を保障してもらえない貧困な親世代が残るだけになることもありえます。老人世代の中でも貧困に陥りやすいのは、言うまでもなく経済的なバックグラウンドを持たない農村の高齢女性です。農村には膨大な数の高齢な貧困女性が存在します。さらに、仮に貧困でなかったとしても、むしろ多くの財産を所有していたとしても、女性は社会へのコミットメントが低いために公的な手段について無知であることが多いという問題があります。

さまざまな人々が、自由に、増大した経済的機会の恩恵を受けることを、「経済発展」と言います（GDPの増大によってはかられる「経済成長」とは区別されます）。しかし、はたして、こうした「新たな」機会を、ほんとうに多くの人々が享受できたのか、という疑問は大きく残ります。つまり、経済成長によって、ある程度の恩恵はわたったものの、不平等化が進んだことで、かえって、もともと経済的に苦しい状態にある人が、相対的にさらに苦しくなるのではないかと、という問題です。仮に、そうしたことが起きた場合、つまり、少数の人々だけが得をして、大多数の人々が

かえって苦境に陥ってしまう、つまり不平等が増大するような場合には、経済成長は経済発展を伴わなかった、ということができます。

不平等が増大すると、犯罪の増加や不効率な経済資源利用など、さまざまな社会的な悪影響（社会的コストの増加）が生まれます。富裕層がより多くの富を独占する一方で、中間層が細りつつあり、格差が増え続けている（ちなみに日本でも子供の6人に一人が貧困状態にあります）ために、経済成長も伸び悩んでいます。すなわち、不平等が発展を阻害しているといえます。

さらに憂慮すべきは、そうした相対的貧困の増大とともに、社会問題から目をそらすべくして、社会的に脆弱なもの、もしくは少数派に対する社会的な敵意をあおるような政治的意図が増幅されることです。アメリカでトランプ政権のもと、社会的マイノリティである移民にルーツを持つ人々に対する敵意があおられたことは記憶に新しいと思います。また、インドでは、宗教的マイノリティであるムスリムに対する排他的な扱いが進行しています。インド人口のマジョリティであるヒンドゥー教徒は牛肉を食べることは絶対禁忌（インドのマクドナルドでは牛肉製品は提供されません）ですが、インド人口のうち1億人をはるかに超えるムスリムにとってはポピュラーな食材です。しかし、ヒンドゥー教徒の強固な支持を基盤とする現政権下では、西部地域においては牛肉を食べることはおろか、単純に所持しているだけでも逮捕されてしまいます。牛肉禁止は、急速なインドの成長と格差拡大の中で、マイノリティであるムスリムへの差別的な認知をあおる政策といえます。

したがって、経済発展という見地に立てば、文化、社会を包摂した、多面的な価値を考慮しながら、経済的な価値について評価を行う必要があります。開発経済学の研究においては、経済成長と経済発展との関係性を評価し、より望ましい経済発展を志向するために、さまざまな研究方法が試されてきました。こうした見地にもとづいて、特定の地域にこだわらず、格差・貧困と経済発展の関係性、そして経済的・社会的変化の中にある女性のありかたについて考えていきたいと思います。



バンガロール下町の自動車修理工



人を運ぶリキシャーとミニトラック

演習の進め方と教科書について：

開発経済学に関係する英文テキストの輪読と、学生各自のテーマや問題意識に沿った発表を行いたいと思います。各自の問題意識に基づいたサポートは行いますので、遠慮なく相談してください。

今年度は

『貧困の経済学』（2018）マーティン・ラヴァリオン著、日本評論社

ほか 授業内で資料を配布いたします。

評価方法：

出席状況、平常点、レポートによって評価します。

選抜方法：

国際経済専攻者が対象となります。現在不在のため、書類のみの選考になります。質問がある場合は m-kato@seinan-gu.ac.jp までメールしてください。



—— プロフィール ——

河村 朗（かわむら あきら）

専門分野：エネルギー・資源経済、中東経済**担当科目：**資源経済論、中東経済論など**趣 味：**将棋の対局、野球観戦、映画鑑賞、国内・海外旅行、読書**自己紹介：**

京都市内で生まれ、約 30 年間古都に住んでいました。大学受験の年がちょうど第 2 次石油危機の直後で、中東地域が注目されていた時期にあたります。大学では英語以外の外国語を勉強したいと思っていたのですが、中東地域の動向が大きく変わった時期が大学受験と重なったことが、大学でアラビア語学科を志望する動機となりました。大学を卒業後に大学院において中東・石油経済を研究し、博士後期課程では 1 年間ほどエジプトに留学しました。その後、短大、私立大学での勤務を経て、2009 年 4 月に西南学院大学経済学部にて赴任しました。

1. 演習内容**(1) テーマ**

2022 年度のゼミのテーマは、次の 2 点です。第一に、世界各国・各地域（アメリカ、ロシア、ヨーロッパ・アジア諸国など）における化石エネルギー（石炭、石油、天然ガス）と非化石エネルギー（原子力、再生可能エネルギー）の国内経済動向です。第二に、このようなエネルギー資源の国際貿易、地政学などの国際関係動向です。ゼミでは英語の資料を用いて、それらのテーマをより深く学習します。

ゼミの受講生は、このようなエネルギー問題に関する英語で書かれた資料を輪読し、報告します。その際、インターネット、図書館のデータベース、新聞、雑誌などで収集した資料を用いながら報告することで、エネルギー資源動向の歴史や現状について理解を深めると同時にエネルギー関係の英語も学びます。

最近 10 年程度における世界のエネルギー資源動向のうち、大きな動向として以下の 5 点が挙げられます。第一に、2011 年の福島での原発事故です。この事故以降、エネルギーとしての原子力の位置づけが世界各国で変化しています。脱原発を目指している国がある一方で、原発を推進している国もあります。第二に、2000 年代後半以降のアメリカにおける「シェール革命」です。シェールガス・オイルの生産量が同国内で増大してきた一方で、「シェール革命」は、世界のエネルギー資源動向に大きな影響を与えています。第三に、2011 年に北アフリカ諸国などで起こった民主化

運動の「アラブの春」以降の MENA（中東・北アフリカ）諸国におけるエネルギー資源動向、特に原油確認埋蔵量が世界的に多いペルシャ湾岸諸国における動向です。この地域におけるそれら化石エネルギーの現地の需給動向を知ることは、世界のエネルギー問題を分析する際に不可欠です。第四に、原油価格の下落です。かつて 1 バレル 100 ドルを超えていた原油価格は、2014 年後半以降に低下し、最近ではアメリカ市場で取引されている WTI（West Texas Intermediate）ベースで 1 バレル当たり 60 ～ 70 ドル台で推移しています。このような原油価格の下落は、産油国、先進国などの世界のエネルギー経済に影響を与えています。第五に、「脱炭素化」です。パリ協定の合意後に世界の各国や企業は、化石エネルギーに含まれる炭素がなくクリーンな太陽エネルギー、風力、バイオマスなど再生可能エネルギーを増やそうとし、それによって発電を行おうとしています。

(2) 演習の進め方

毎回、主に英語の資料を輪読し、またインターネットなどで収集した情報も活用しながら報告を担当します。対面授業の場合は、3 ～ 4 人程度のグループを形成し、その各々のメンバーが作業を分担しながらグループごとに報告を行います。その後、その報告内容に関する質問に対して応答します。また、ディベート（日本語）を数回行う予定です。

(3) テキスト

最近のエネルギー動向を扱う関係で、テキストは特に使用しません。主に、図書館のデータベースやインターネットの英語資料などを利用します。

(4) 評価方法

平常点、プレゼンテーション、レポートをふまえて、成績評価を行います。

2. 学生への要望

エネルギー問題に関心がある学生を望みます。既に前期で「資源経済論」を単位取得した学生や、その他の学生でも関心があれば歓迎します。希望者は、ゼミの申込書の志望理由の箇所に、このゼミを志望する理由に加えて、エネルギー問題のなかで最も関心を持っているテーマとその背景を具体的に説明してください。

3. その他

- このゼミは国際経済学科の学生を対象にしています。
- 前述したように、このゼミでは英語の資料を多く使用しますので、注意してください。
- 質問があれば、kawamura@seinan-gu.ac.jp までメールを送ってください。
- 過去の受講生の就職先（エネルギー関係）として、九州電力、西部ガスエネルギー、出光興産などがあります。

- 演習Ⅱ：演習Ⅰで学習した内容から最も関心があるテーマについて研究を行い、卒業論文としてまとめます。過去のゼミ生の卒業論文のタイトルをテーマごとに以下に抜粋して、記載します。

(a)石油

- 「石油の時代と今後の展望」
- 「オイルマネーの投資と今後の展望」
- 「原油価格の変動が経済に与える影響について」

(b)天然ガス

- 「再生可能エネルギーの普及をつなぐ天然ガス」

(c)再生可能エネルギー

- 「エネルギーの現状と今後の展望―再生可能エネルギーに焦点をあてる―」
- 「世界における再生可能エネルギー動向の現状と今後の展望―日本を中心として―」
- 「アフリカ地域における電化の状況とソーラー発電の導入について」
- 「再生可能エネルギーが環境に与える影響について」
- 「風力発電の現状と今後の展望」
- 「再生可能エネルギーの歴史・現状・今後の展望」

(d)原子力

- 「原子力の利用と今後の展望」
- 「世界主要国のエネルギー動向の分析―原子力政策を視野に入れて―」
- 「福島第一原子力発電所事故による各国への影響」
- 「世界における原子力発電の現状と今後の展望」
- 「原子力発電の歴史と原発事故に関する一考察」

(e)「シェール革命」

- 「日本からみたシェール革命―その影響と今後の展望―」
- 「シェール革命とその後のエネルギー情勢―アメリカを中心として―」
- 「シェール革命が世界各国に与える影響と今後の展望について」
- 「シェール革命と世界のエネルギー市場への影響」

(f)日本のエネルギー問題

- 「日本におけるエネルギーの現状と今後の展望」
- 「日本のエネルギー資源と今後の展望」
- 「2030年までの日本におけるエネルギー動向の展望を考察する―エネルギーミックスに焦点を当てながら―」
- 「非化石燃料によるエネルギーの多様化―今後の日本―」
- 「日本においての再生可能エネルギーの普及」
- 「原発が日本経済に与える影響」

「日本のエネルギーミックスの展望」

(g)エネルギー全般

「世界各国のエネルギー消費動向に対する一考察」

「エネルギーの過去・現在・未来」

「世界のエネルギー事情の現状と今後の展望」



—— プロフィール ——

1970 年岡山県生まれ。テニス、ジョギング、水泳、ビール（発泡酒）が好きです。

[注意] 国際経済学科に所属される方のみ受講可能です。

[テーマ] 失業問題を様々な観点から考える

[内容]

演習 I では、失業問題を、マクロ経済理論、各国の制度やデータの比較など様々な観点から考えます。マクロ経済学の基本的な考え方を学び、失業問題について自分なりに意見が言えるようになることを目標にします。

2 種類の文献を輪読します。一つはマクロ経済学の教科書です。以下の教科書の中から選択する予定です（複数を選択するかもしれません）。いずれにしても必要な箇所のコピーを配布し、失業が発生するメカニズムや、考えられる対処法などを学びます。（2021 年度は 1. を使用しました）

1. Acemoglu, Laibson, List *Macroeconomics* 2nd Edition, Pearson
2. Blanchard *Macroeconomics* 7th Edition, Pearson
3. Mankiw *Macroeconomics* 10th Edition, Worth Publishers
4. Jones *Macroeconomics* 4th Edition, W. W. Norton & Company

もう一つは、OECD の *Employment Outlook*（各年版）です。近年に出版されたものの中から各自で興味を持ったトピックを選択して使用します。COVID-19 危機、高齢化、グローバル化、ICT（情報通信技術）の進歩等が労働市場へどのように影響するかなど、非常に興味深い現状分析と将来の見通しが各国の豊富なデータとともに掲載されています。

いずれも英語の文献ですが、報告や議論は日本語ですから、英語が得意でなくても問題ありません（英文を読みたくない人には向きませんが）。経済理論を扱う学部生向け教科書の英語は平易で、The Economist や Web の英字新聞などの記事よりずっと読み易いと思います。英語が苦手な人も是非どうぞ。

報告者を中心に全員で報告内容について議論します。議論を通じて誤解や勘違いが見つかる、新たな視点や考え方に触れるなど、一人で文献を読んだだけでは得られないことを学べます。もちろん、議論の仕方・質問の仕方の勉強にもなります。参加者は積極的に発言することを求められます。ゼミの運営で強調したいことは以下の二つです。

- (1) 「議論を通じて理解を深める」をモットーに進めます。報告方法も工夫して一人あたり報告回数を増やします。頻繁に発言が求められるので座って聞いていただいただけの人には向きません。ゼミでは英文の読解力よりも議論に参加しようとする意欲の方が重要です。

(2) 統計学の基本事項を解説し、パソコンを使用した実習も行います。パソコンの使用について特に難しい知識は必要ありません。Word で文章を作成し、フォルダや USB メモリに保存できれば十分です。パソコンの取り扱いに不安のある人は事前に相談してください。演習では Python というプログラミング言語を用いたデータ分析の基本事項を扱います。より進んだ分析に興味がある人には別途勉強会を開催するなどして対応します。

[成績・評価]

出席、授業への参加態度などを総合的に評価します。ミニテストを実施するかもしれません。

[ゼミ生の選考基準]

ゼミ中に活発に議論に参加してくれるかどうかを重要視します。発言内容が間違えていても、的外れなことを言っても気にしないで、積極的に取り組んでくれることを期待しています。ゼミを楽しくしようと思っている人の応募をお待ちしています。

マクロ経済学Ⅱ、経済政策Ⅰの成績は良くなくても選考には影響しません。ただし、これらの科目を履修していない人は3年次に履修してください。履修を要求するのは、ゼミの教員がどのような授業をしているか知っておいてもらいたいからです。(注意) 3年次にこれらの履修登録をしたからといって単位取得を約束するものではありません!

[その他]

コロナの問題が落ち着けば、ゼミの懇親会やイベントを再開したいと思っています。これらについては参加者の自主性にまかせています。ゼミ生が企画したものは参加しますので是非提案してください。過去には、福岡市博物館見学、河川敷や百道浜でバーベキュー、能古島遠足、壱岐島旅行などがありました。一方で、飲み会だけの年もありました。全員大人しく一年間お通夜のような年もありました……。楽しい企画で親睦を深めたいと思っていますので是非提案してください。九州国立博物館の見学や工場見学とかどうでしょう。

* ゼミについての質問は随時受け付けています。遠慮無くメールしてください。

smiyake@seinan-gu.ac.jp <— miyake の前に s がつきます。



(アリババ北京本部にて)

—— プロフィール ——

所 属：国際経済学科

専門分野：中国経済、流通論、小売業研究、経営史

担当科目：中国経済論

演習のテーマ：グローバル経済社会を考える

趣 味：海外旅行、語学

【演習の概要】

この演習は、グローバル経済とそれを牽引する企業の姿を、中国を中心に、経済史・経営史の方法と競争力の視点によりつつ、一国単位の分析で捉えきれない現象を把握します。本演習では、中国はもちろん、これと関連がある日本、東アジア、北米、ヨーロッパ諸国などをも対象とし、世界的な視野で政治、経済、社会、そして文化的な動態について検討します。

【演習のねらい】

1. 演習Ⅰでは、テキストと新聞記事を輪読・ディスカッションする一方、グループ研究に関する研究計画、調査、報告、討論を行います。その過程では、レジュメの作成、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークの能力を身につけていきます。また、視野を広げ、卒業研究に向けた準備として興味を持つテーマを発見し、調査と研究の基本を学びます。
2. 演習Ⅱでは、卒業研究に向けた研究指導を受けながら、調査・研究の能力を身につけ、研究論文の書き方を習った上で、卒業論文を提出します。
3. 本演習では、国際的な視野を育み、国際的な経験を積むことを目標とします。グローバル化の進展のなかで、自国の経済事情を学ぶだけでは不十分です。本演習では、世界の多様性と普遍性に関する十分な知識を踏まえ、日本語と英語の双方において複雑な社会的・経済的問題について論理的な議論を展開し、世界を理解する能力の獲得を目指します。

【進め方】

演習Ⅰの前期では、グローバル経済に関するテキストの分担発表をします。資料を作成するスキル、わかりやすく説明する技術、ディスカッション・ディベート力の習得を目標として、グループ形式でレジュメを作成し、報告・討論してもらいます。

演習Ⅰの後期は、グループ単位で各自が決めたテーマについて、調査・研究してもらい、研究成果を報告してもらいます。

なお、前期と後期を問わず、毎回最初の20分間に日経新聞の輪読・議論を行います。新聞記事を読むことを通じて、視野を広げ、卒論テーマを見つけることを期待します。

4年の演習Ⅱは、卒業論文や卒業研究に向けた指導をメインとして進めます。前期は、論文の書き方

の習得と卒論テーマの選定を目標とします。研究論文の書き方を注意して論文や研究著作の輪読と議論をしてもらいます。また、卒論のテーマと構成を決めるように、卒業論文に関して2～3回の間接報告をしてもらいます。報告の後に、必要な指導をしますので、卒業論文について心配はしなくても大丈夫です。後期は、引き続き指導を受けて、卒業研究の報告と卒業論文の提出をしてもらう予定です。

【ゼミのおおまかな流れ】

- ・3年前期：①日経新聞の輪読 ②グローバル経済に関するテキストの輪読・議論
- ・3年後期：①日経新聞の輪読 ②卒論の準備：グループディスカッション&報告
- ・4年前期：①グローバル経済・論文作成に関するテキストの輪読・議論 ②卒論報告
- ・4年後期：①卒業研究の報告 ②卒業論文の提出

【テキスト・参考書】

1. 『日本経済新聞』（最初の20分に新聞記事を輪読して議論してもらう予定です。）
2. 輪読テキスト：学習歴・読書歴を聴取の上テキストを決めたいと思います。グローバル経済の基本から、これから必要となる最新分野まで、内容について受講生の要望を反映できるテキストを選びましょう。

【評価方法】

テストはなく、授業の発表や出席が重視されます。

【選考方法】

1. 選抜の必要がある場合に、書類選考となります。追加の情報が必要であれば、メールなどを通じて連絡します。
2. 本演習は国際経済学科の学生のみ履修可能です。
3. 定員に達しない場合、全ての学生を受け入れます。

【その他】

1. 無断欠席厳禁です。やむを得ない場合は、必ず理由とともに事前にご連絡ください。
2. 授業中に積極的にディスカッション・議論してください。自主的な発言やチームワークを重視します。
3. 予備知識は特に必要ではありません。
4. グローバル経済、アジア経済、海外事情、社会について興味を持っている方はぜひご参加ください。
5. ゼミ内容について質問があればお答えしますので、shirui@seinan-gu.ac.jpにご連絡ください。
6. 海外見学・海外体験が好きな人は大歓迎です。コロナウィルスの影響でフィールドワークなどの実施は難しいですが、授業中ビデオ資料と書籍で海外体験を積みましょう。

—— プロフィール ——

担当科目：アメリカ経済論

〔1〕 研究テーマ

立石ゼミナールでは、アメリカ経済およびその国際経済関係の行方を深く考えることを目的とします。そのために、以下のテーマでアメリカ経済を探究したいと考えています。

1. 「アメリカ経済の成長と構造変化」

アメリカ経済は驚くべきスピードで変容しています。1980年代中頃は日本経済の興隆とアメリカ経済の衰退が指摘された時期でした。それから10年後の1990年代にはアメリカ経済でのIT革命と金融活況そして日本経済の長期不況のように状況が180度変化しました。そして2000年以降、アメリカ経済は金融危機など不安定な側面を見せましたが、それでもGAFAの興隆など経済成長と変化を続けています。他方で、金融危機をきっかけにアメリカは日本のように長期停滞経済に突入したとの議論も見られます。この議論は、アメリカの金融財政政策を考える際に重要な分析視角を与えてくれます。

2. 「アメリカの経済格差とその政治経済的インパクト」

アメリカ経済の変化は経済格差の拡大という大きな問題を伴っています。アメリカの経済格差は伝統的に人種や民族の違いと密接に関連しています。アメリカでは格差はいわば移民社会の縮図のように思えます。こうした伝統的格差に加えて、近年は学歴や職種に基づいた同じ人種や民族内部での格差が拡大しています。なかでも、白人を中心とした豊かな中間層が「Haves」と「Have-nots」に分裂しつつあることが指摘されています。この新しい経済格差は、「保守共和党 対 リベラル民主党」という従来の政治構造に、「持つ者 対 持たざる者」という対立軸を加えることで、アメリカの政治構造に影響を与え始めています。

3. 「アメリカ経済の内向化と世界経済の行方」

1990年代以降、アメリカ経済では、対外資本流入や対外生産依存そして移民の流入が増大することで、グローバル化が進展しました。こうしたグローバル化は、世界的な資本取引や貿易取引の自由化によっても促進され、しかもアメリカ自らが先導して形成してきたのです。しかし近年、グローバル化に対して、アメリカ国民の多くがその恩恵を受けていないと感じているようです。アメリカ2大政党の共和党および民主党のどちらもが、TPPや移民に批判的立場をとり、グローバル化からの一定の後退を主張しています。アメリカが主導して形成した世界経済は転換点を迎つつあるのかもしれません。

〔2〕演習の進め方

演習Ⅰでは、アメリカ経済に関する基本的知識の獲得と説明力を身につけてほしいと思っています。具体的には授業前にあらかじめ講義資料に目を通してもらい、それを題材として、授業では知識の確認やディスカッションを中心に楽しく進めます。アメリカ経済に関するゼミですので、英語文献も利用します。また経済学部生であれば身につけておかなければならない大学レベルの教養(知識や技能)を是非とも身につけてほしいと考えています。立石ゼミでは、自然とそのような教養が身につくように工夫したいと思います。これらの知識と能力は、就職活動でも役立つと思います。

演習Ⅱでは卒業研究を念頭に置いて、多くの文献を読みこなし、(そしてそれらを就活のネタにすることを踏まえて)レポートを作成してもらいます。そのうえで、12月末を目途にして卒業論文を提出してもらいます。テキスト・参考文献などは、卒業論文の執筆を念頭において、皆さんと相談のうえで決定したいと思います。演習Ⅱは出席およびレポートで、卒業論文は提出された卒業論文で判断して評価します。ちなみに立石ゼミでは、よほどの事情がない限り、卒業論文を提出することになっています。

また立石ゼミでは、立石ゼミの先輩方にオンラインで就職活動に関するアドバイスをしてもらっています。年齢的に近い先輩方の話ですので、就活にも役立つと思います。またコロナが収まった暁には、是非とも懇親会やゼミ合宿など行い、ゼミ生間の交流を図りたいと思います。

〔3〕ゼミ生の選考基準

大学で修める学問は即効的に社会に役立つものではありません。大学とは通常では見過ごされがちな問題に好奇心を抱き、その探究を行い、真理を発見するという非常に高度な知的作業を行うところです。それは社会に出た後では決してする事の出来ない非常に豊かな知的活動です。(ちなみに卒業生の多くはなぜ大学時代にもっと学問をしておかなかったのだろうと後悔する人が多くいます。)当ゼミナールでは基本的に知的関心が高く、自らその疑問を解決しようとする積極的な学生を歓迎します。もちろんそうでなくても大丈夫です。一緒に学問することで、知的活動に関心を持てばそれで結構です

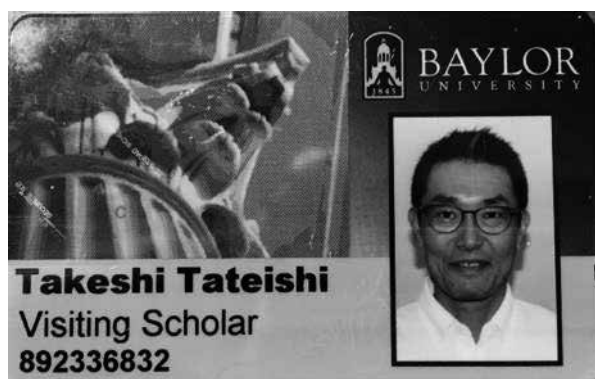
私が想定している人数以上の応募があれば、提出書類などにて選考します。その際、アメリカに関する基礎知識が豊富な人や英語文献にアレルギーがない人は歓迎しますので、応募用紙で具体的にアピールしてください(例えば、自主的に読んだことのあるアメリカに関する文献名やその感想、英語検定試験の成績など)。なお立石ゼミには国際経済学科生のみ応募することができます。

何か質問などがあればメールにて受け付けます。返事は多少時間がかかりますが気軽に質問して下さい。

メールアドレス：tatetake@seinan-gu.ac.jp

『大学は、生計を得るためのある特定の手段に人々を適応させるのに必要な知識を教えることを目的とはしていないのです。大学の目的は、熟練した法律家、医師、または技術者を養成すること

ではなく、有能で教養ある人間を育成することにあります。』J.S. ミル『大学教育について』（岩波文庫）



2015～16年の間、アメリカテキサス州のベイラー大学に交換教授として派遣されました。アメリカの南部は初めて訪れたのですが、良い意味で期待を大きく裏切ってくれました。テキサス州はアメリカ第二の経済規模を誇り、今後の成長が見込まれています。ゼミでは、日本人にはあまりなじみのない南部での体験についても出来るだけ伝えていきたいと考えています。



—— プロフィール ——

尹 春志

1967 年兵庫県尼崎市生まれ

I. 自己紹介

世界経済論（そして3年生以上の科目でヨーロッパ経済論）を担当しています。2017年ー2018年に、ドイツ・ブレーメン大学で在外研究を行いました。2003年から2005年に続く2度目の長期滞在でしたが、街の相貌の変化に衝撃を受けました。現在は、その経験をもとに、ヨーロッパ（特にドイツ）における社会・経済の変化を中心にグローバル化の行方について研究しています。



ハンザ自由都市ブレーメンの象徴：市庁舎(手前)とローランド像
(奥の本当は大きい小さく映っている像)

II. 演習のテーマ

1990年代以降、グローバル化の下、一体化傾向を示してきた世界経済は、近頃、その反動あるいは帰結としてさまざまな問題に直面しています。たとえば急速に成長する経済があるなかで、世界的に不平等は拡大し、ヨーロッパや米国ではポピュリズムといわれる政治的な動きが台頭し社会的な分断が深刻化しています。コロナ以降、さらに世界経済は不確実性を高めています。この演習では、「グローバル化の行方」を、カネ・モノ・ヒトの動きだけでなく、できるかぎり**社会の視点**で理解し展望することを追求したいと思っています。

III. 授業の概要

演習Ⅰは、次のように２部構成をとります。

(1) 一つは、基礎知識と共通認識を養うためのテキストの輪読です。

2021年度はグローバル価値連鎖の基本的な分析視角について書かれた猪俣哲史『グローバル・バリューチェーン：新・南北問題へのまなざし』（日本経済新聞社）と、諸富徹『資本主義の新しい形』（岩波書店）をクリティカルに（内容を十分に理解したうえで批判的に）読んでいます。2022年度は、これらの著書も候補ですが、（現時点ではあまりいい文献がありませんが）コロナ後の経済の再編について書かれたものもテキスト候補として検討します。

またもし英語で勉強することに興味のある人が多ければ、上記のテーマに関連した英語論文を活用することも考えています。その場合、OECDやILO、UNCTADといった国際機関の研究報告書を取り上げます。ただし英語文献の利用は、あくまで「希望者が多ければ」ということなので、必須ではありません。

(2) 2つめは、テーマを設定し、「調べ、論点を析出し、議論を組み立てる」グループ研究を行います。

ここ数年は、AI/ロボティクスと雇用問題、格差・不平等といったテーマを選ぶゼミ生が多いですが、2022年度は、コロナ以降を見据えた、グローバルな生産の再編やヒトの移動の変化（移民問題）とともに、格差や不平等の解消のための社会構想といったことも考えていければと思っています。テーマは、上記の演習のテーマと関連するもので、ゼミ選考時に提出してもらう志望理由書や意見をもとに、ゼミ生の関心と問題意識に沿ったものに設定します。グループ研究は、最終的に「ゼミ論文」にまとめることを目指し、演習Ⅰにおける「学び」の具体的成果として形にします。その過程で、文献の調査や論文作成上の作法についても学び、演習Ⅱにおける卒業研究に生かしてもらいます。

※なお演習Ⅱでは、卒業論文の執筆は必須ではありませんが、演習Ⅰで学んだアカデミック・スキルをベースに、各自が国際経済や日本経済に関するテーマを設定し、卒業研究に取り組むことになります。

IV. ゼミの進め方

数回テキストを読んだ後、前期からグループ研究に行い、テキストの輪読とグループ研究を並行して進めることを考えています。輪読は、グループ研究の進捗状況にもよりますが、前期・後期ともに各1冊ずつ読む予定です。グループ研究の成果は、後期（年末）までにゼミ論文の形にまとめ、就職活動などで「ゼミで何を勉強した？」と問われても即答できるような状態にしたいと思っています。

前・後期を通じて、報告者は必ずレジュメを準備し、それにもとづいて質疑・応答・討論という形で行います。また議論の活性化のために、予定討論者（コメンテーターあるいは質問者）を指定

することもあります。

※ 2021 年度は、対面が難しい場合は Zoom や Webex を使って演習を行いました。2022 年度も可能かぎり対面で授業を行い、万一、それができない場合は Webex のブレイクアウトセッション機能などを使って、グループワークを中心にゼミ生間でディスカッションができる形態で行う予定です。

V. テキスト・参考文献

最初のテキストとしては、2021 年度に使った次のいずれかを考えています（予定です）。

猪俣哲史『グローバル・バリューチェーン：新・南北問題へのまなざし』日本経済新聞社。

諸富徹『資本主義の新しい形』（岩波書店）。

前述のように、英語の文献を使って勉強したい人が多い場合には、国際機関の研究報告書の該当章などを追加のテキストとして使用することも考えています。

VI. 成績評価

出席は必須です。課題への取り組み 70%、議論への参加度・貢献度 30% で評価します。

VII. 選考方法

志望理由書をみて判断します。志望理由書には、何を勉強してきたかではなく、ゼミでどんな勉強をしたいかを中心にできるかぎり具体的に書いてください。上の説明を読んでもらえればわかるように、ゼミは全体を通じて、身近な問題や身のまわりのことを経済学で理解するといったことを目的にはしていません。それも無視するわけではありませんが、このゼミではむしろ身近なものの背後にある「大きな状況」の変化や構造のようなものについて、歴史なども踏まえながら、考え展望することを目指します。「知的な関心」をもち、考える際の自分なりの見方や視点をもちたいと思う人が応募してくれることを期待します。万一、応募者が定員を超過し選考する必要が生じた場合には、原則、志望理由書を読み、志望者が勉強したい内容と演習で取り上げることがマッチするかで判断します。書類だけでは決めることができず、面接しなければならなくなったときは、moodle にその旨掲示します。

VIII. その他

国際経済学科の学生向けの演習です。特定の科目の履修は必須ではありません。得手・不得手の異なるいろいろな人が集まって相乗効果が出るようなゼミになればよいと思っています。何か質問がある場合には、メールで連絡してくれば返信します。

The highest reward for a person's toil is not what they get for it, but what they become by it.

John Ruskin

